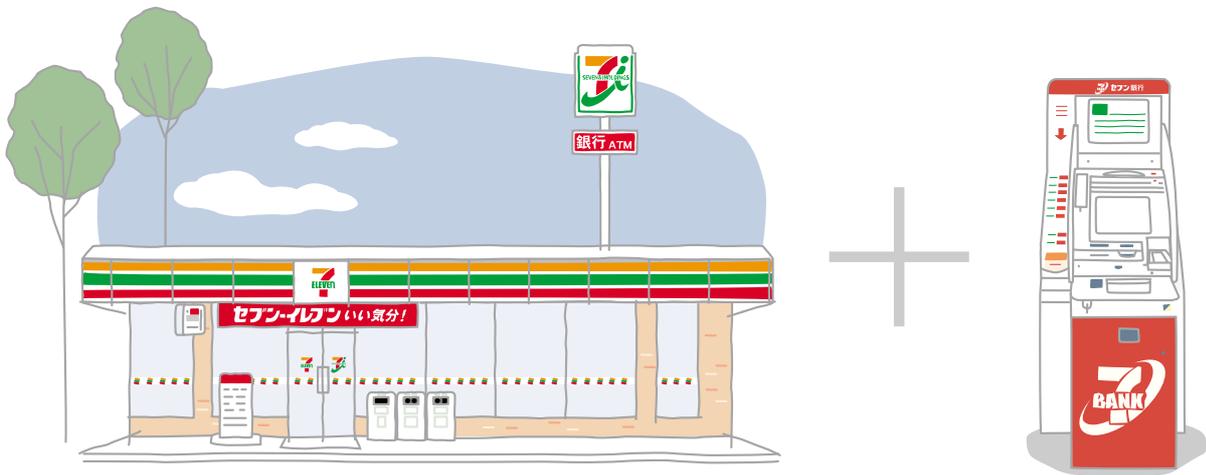


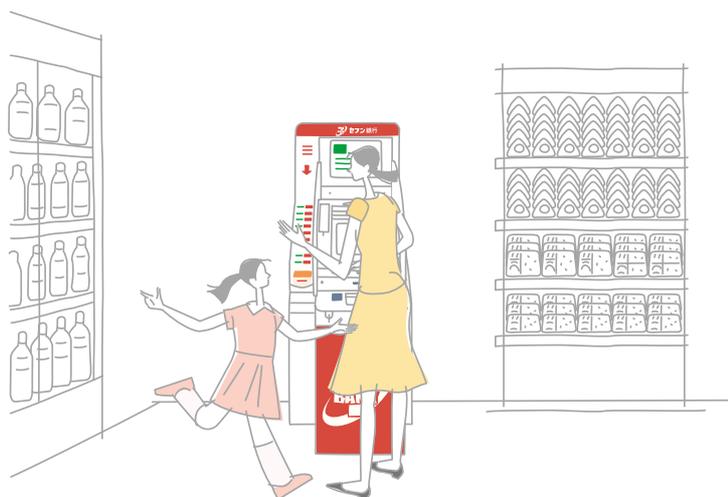


セブン銀行

ディスクロージャー誌 2006

コンビニに、銀行があったらいいのに。





セブン銀行は、 「お客さまの思い」から生まれました。

今から10年ほど前。セブン-イレブンには「ATMがほしい」という多くの声が寄せられていました。お客さまの求めていることに、応えていきたい。すぐに準備が始まりました。

けれど当時は、どこかの金融機関にATMを展開してもらうのが常識。それでは、セブン-イレブンらしいお客さま本位の自由なサービスが実現できません。だから、決意しました。自分たちで銀行を作ってしまう。

2001年5月、アイワイバンク銀行が誕生しました。それは、「すべてはお客さまの満足のために」という小売業の思想を持った、日本初の銀行の誕生でもありました。

2005年春、私たちのATMは、1万台を突破しました。おそらく世界的にも例のないATM網を保有する銀行ができたのです。このATM網を「社会のインフラ」ととらえて、新しいサービスを生み出そう。2005年10月、アイワイバンク銀行からセブン銀行へと社名を変更。これは新しい挑戦への号砲でした。

金融の常識でなく、お客さまの思いが、私たちの行動基準です。私たちは進化し続けます。お客さまの新しい満足の実現のために。

セブン銀行だからできる サービスを求めて。



セブン銀行だからできるサービスとは何か。2001年、私たちはATMを主体とした、まったく新しい形態の銀行として誕生しました。セブン-イレブン、イトーヨーカドーという小売業から生まれた私たちは、サービス業の発想を根底に持っています。「もっとお客さまの近くへ」という思いから、私たちはATMの増設と金融機関との提携拡大に努めてきました。その結果、2006年6月現在、全国30都道府県にATMを1万1500台以上、金融機関500社以上のカードが利用できるネットワークを持ち、24時間365日、休みなく稼働する体制を確立しました。

皆さまのご支援とご協力をいただき、2003年度には単年度黒字化、そして2005年度には累積損失の一掃という確実な成長を達成することができました。

そして2005年10月、アイワイバンク銀行からセブン銀行へ社名を変更いたしました。序章が終わり、今年、私たちの事業は次の章へ向かおうとしています。

昨年初めて開設した有人店舗での新しいサービス。社会のインフラとなったATMのさらなる進化。これからも質の成長を遂げるために、一つひとつ努力してまいります。

私たちは、『銀行とはこうである』という固定観念やしきたりにはとらわれません。お客さまの声に耳を傾け、お客さまのニーズを的確に把握することで、どこにもない金融サービスを提供したい。それが私たちの唯一最大の目標です。

セブン銀行のこれからの、どうぞこれまで以上のご支援をお願いいたします。皆さまの声こそが、私たちのエネルギーなのです。

(2006年7月)

代表取締役社長

安高 隆



社是

1. 私たちは、お客さまに信頼される誠実な企業でありたい。
2. 私たちは、株主、お取引先、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3. 私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。

経営理念

1. お客さまのニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

目次

セブン銀行の事業概要	4	ATMサービス		主要データ	24
セブン銀行の特徴① ATMサービス	6	● いつでも使える、セブン銀行	12	業績ハイライト	26
セブン銀行の特徴② セブン銀行口座	8	● どこでも使える、セブン銀行	13	資料編	27
CS (お客さま満足)への取り組み	10	● だれでも使える、セブン銀行	14	・ 営業の概況	28
		● 安心して使える、セブン銀行	16	・ 財務データ等	30
		金融サービス		・ リスク管理の取り組み	38
		● おサイフがわりの、セブン銀行口座	18	・ コンプライアンス(法令等遵守)の取り組み	39
		● みんなの銀行窓口、セブン銀行	20	・ 会社概要等	40
		金融機関の皆さまへ	22		

●本誌は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー(情報開示)資料です。

「こんな銀行が、あればいいのに」 お客さまの思いをかたちにすることが、 セブン銀行の“事業”です。

1千万人のお客さまと全国500の金融機関を、
1万1500台のATMでつないでいます。

毎日、全国のセブン-イレブンやイトーヨーカドー等にご来店される、約1千万人のお客さま。このお客さまによりご満足いただくには、どんなサービスがあればいいだろう……。セブン銀行は、そんな小売業ならではの発想から誕生した、世界でもめずらしい銀行です。

セブン銀行がまず目指したのは、24時間365日いつでもお金の出し入れができるATMを、日本全国のセブン-イレブンやイトーヨーカドー等の店舗に設置すること。「現金の入出金」という基本サービスに特化することで、設立から5年で全国約1万1500台超というATM網を作り上げました。

また、すべてのお客さまがこのATMを利用できるよう、あらゆる金融機関との提携を推進。都市銀行、地方銀行をはじめ、信用金庫、信用組合、労働金庫、JAバンク、JFマリンバンク、日本郵政公社（郵便貯金）、証券会社、生命保険会社、クレジットカード会社など、500を超える金融機関のカードが利用可能な体制を実現しました。

有人店舗、定期預金、カードローン。
お客さまの求めるものを、さらに実現していきます。

2005年10月、アイワイバンク銀行からセブン銀行へと社名を変更し、私たちの事業は「第二段階」へと進みました。代理業務、取次ぎ業務を活用し、お客さまの立場に立ったきめ細かなサービスを実現するために、首都圏に5つの有人店舗を開業。2006年3月には定期預金を開始。2007年春にはカードローンのサービスもスタートさせる予定です。

これらすべてのサービスの基本にあるのは、「お客さまは今、何を欲しているだろう?」という「お客さまの立場に立って」考えるということです。常識や都合にとらわれることなく、お客さまのニーズに安全かつ確実に、そしてスピーディーにお応えする。セブン銀行の存在理由は、そこにあります。

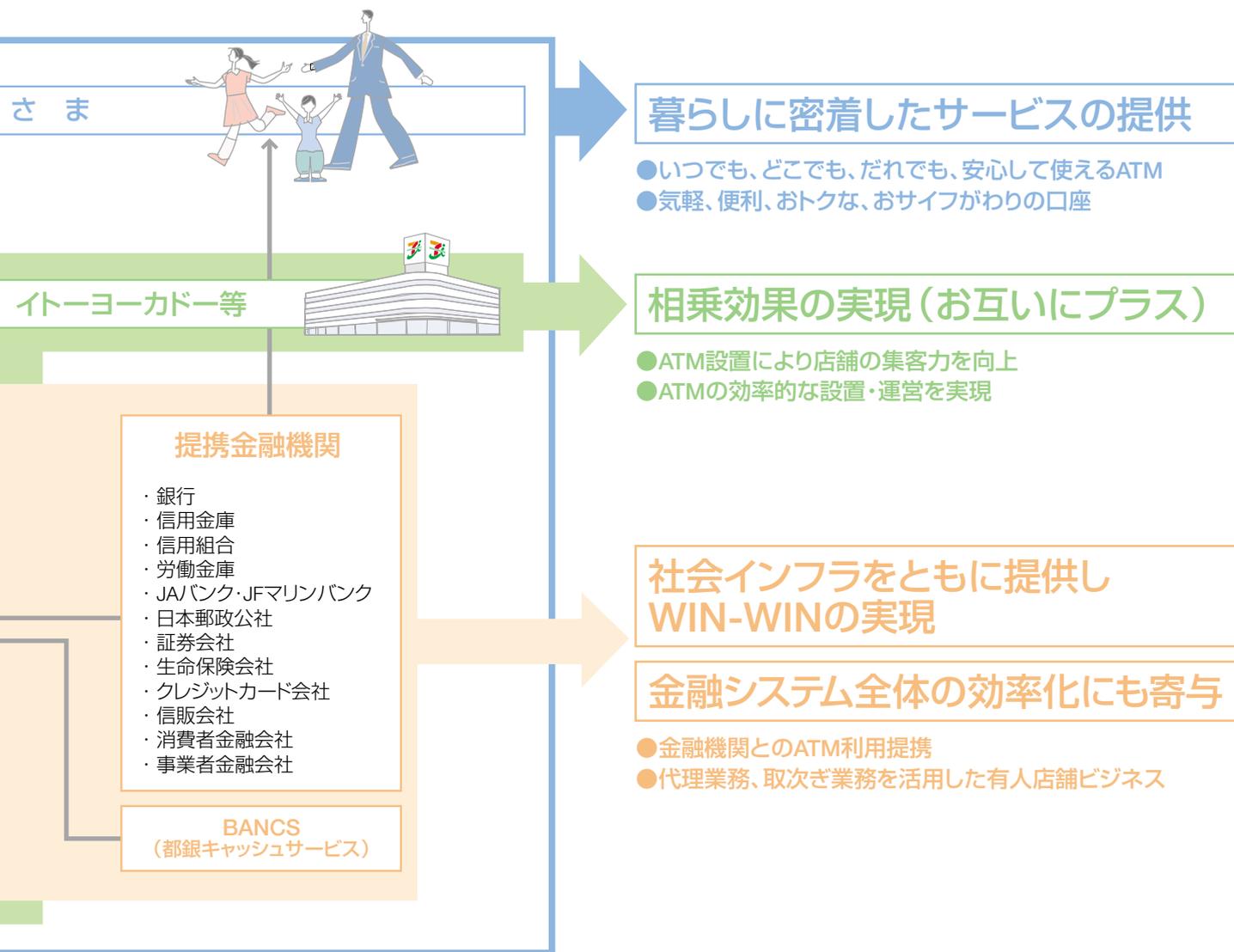
お客さまの思いをかたちにするからこそ、セブン銀行の“事業目的”なのです。

事業概念図 (2006年6月末現在)



セブン銀行の主要なサービス (2006年6月末現在)

- ATMサービス
 - ・お客さまに身近なセブン-イレブンやイトーヨーカドー店舗等にATMを設置し、さまざまな金融機関のカードが利用できるサービスを提供しています。
- 預金関連サービス
 - ・セブン銀行として普通預金、定期預金、振込等を取扱っています。
 - ・口座振替サービスを取扱っています。
 - ・法人向けには売上金入金サービスを取扱っています。
- 有人店舗でのサービス「みんなの銀行窓口。」
 - ・代理業務、金融機関等提携先の商品・サービスの取次ぎ業務等を取扱っています。
- インターネットでのサービス
 - ・インターネットバンキングのサービスを提供しています。
 - ・ホームページで金融機関等提携先の商品・サービスの取次ぎ業務等を取扱っています。

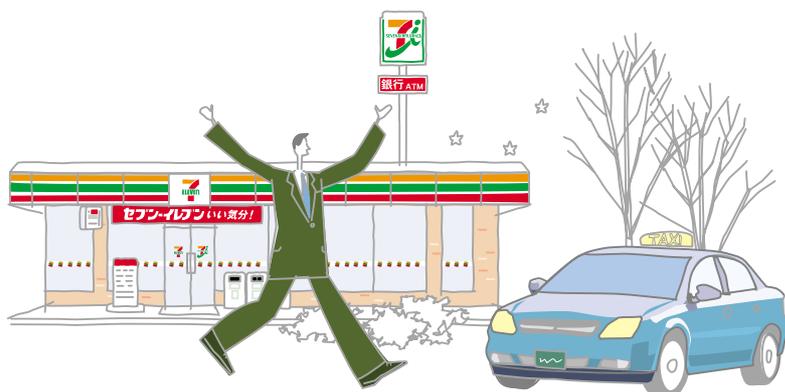


セブン銀行の特徴① ATMサービス

「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」
ご利用いただけるATMサービスへ。
“新しい便利さ”を次々に生み出しています。

私たちセブン銀行の最大の特徴は、全国30都道府県に設置された1万1500台以上のATMサービス網。
「いつも行く、あの店」や「お出かけ先の、この店」で、手軽にお金の出し入れができます。
暮らしに密着したこのATM網は、これまでになかった「新しい便利さ」を生み出しています。

いつでも



深夜に急いでタクシーに飛び乗ったら、お金が足りないことに気がついた。仕事帰りに急な食事のお誘い、でもお財布にはお金が残りわずか……。そんな時にも、セブン銀行ATMをご利用ください。原則として年中無休・24時間、いつでも稼働しています。土・日・祝日も、深夜や早朝でも、いつものセブン-イレブン等でお取引が可能です。セブン銀行ATMは、お客さまお一人おひとりのライフスタイルを支えます。

※提携金融機関のご利用時間等は当社HPなどでご確認ください。

どこでも

旅先でおもいきりショッピングをしたい時、出張先で家族への素敵なお土産を見つけた時、セブン-イレブンやイトーヨーカドーがあれば大丈夫。セブン銀行では、全国30都道府県に1万1500台以上のATMを設置しています。お客さまが口座をお持ちの銀行がない地域でも、お財布の準備は万端。セブン銀行ATMは、皆さまに快適でアクティブな生活をご提供します。





だれでも



セブン銀行は、500を超える金融機関と提携しています。ですから、地元の銀行や信用金庫、JAバンクのカードをお持ちの方も、郵便貯金やクレジットカードをお持ちの方も、いつものカードでいつもどおりのお取引ができるのです。目標は、世の中にあるすべてのカードをご利用いただけるようにすること。すべてのお客さまに便利さをお届けするために、そしてご満足いただくために、セブン銀行は進化し続けています。

※ご利用いただけるカード、お取引は当社HPなどでご確認ください。

安心して

お金を引出したいけれど、こんなに遅い時間ではちょっと不安……。深夜のATM利用は、いろいろな不安がつきまといまいます。そんな時、セブン銀行ATMなら、いつも店員がいるお店の中に設置しているので、女性お一人でも安心してご利用いただけます。もちろん、セキュリティも万全。専用の防犯カメラや、24時間の監視体制により、皆さまに安心してご利用いただけるATMを実現しています。



セブン銀行の特徴② セブン銀行口座

セブン銀行口座は、「おサイフがわり」。 シンプルで使いやすい、 “新しい口座”をかたちにしています。

セブン銀行口座が使いやすいのは、ATM網に加えて、インターネットや電話によるリモートバンキングも充実しているから。シンプルなサービスだからこその手軽さ。そんな「おサイフがわり」の口座だから、皆さまにご支持をいただいています。

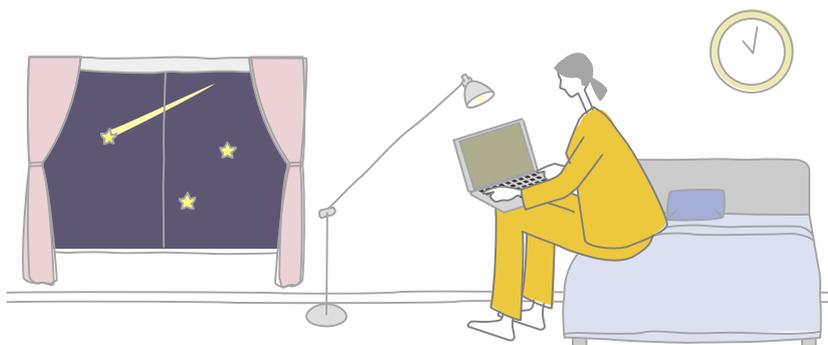
気軽に



忙しさに追われて、気づいたら家賃の引落とし口座の残高がゼロ、帰宅時間が遅いから、銀行窓口にはなかなか行けない……。携帯電話によるモバイルバンキングが利用できるセブン銀行口座なら、こんなお客さまの生活もサポートします。忙しいビジネスマンでも、ほんのわずかな移動時間にお取引ができたり、月末の忙しい時間に銀行に行かなくとも、携帯電話でお振込などを完了できる。使うほどにわかる便利さです。

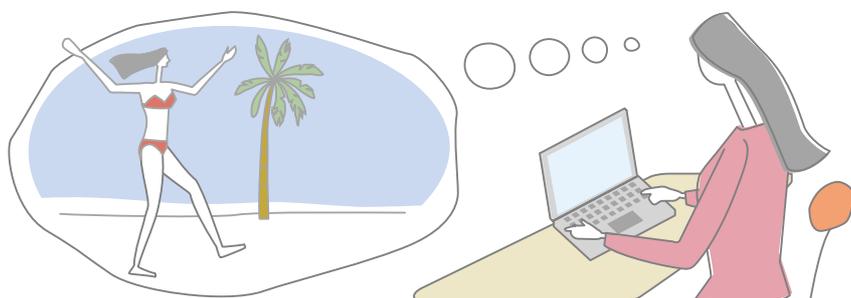
便利に

セブン銀行口座は24時間365日お取引ができますので、生活時間が不規則な方や早朝・深夜の活動が多い方も、いつでも便利に簡単にご利用いただけます。だから帰宅後、ホッと一息つきながらご自宅のパソコンでお取引ができます。また振込された時には入金のお知らせメールが届くので、次の行動がすばやくとれます。セブン銀行口座は、お客さまのさまざまな生活に対応できる、心強い味方です。





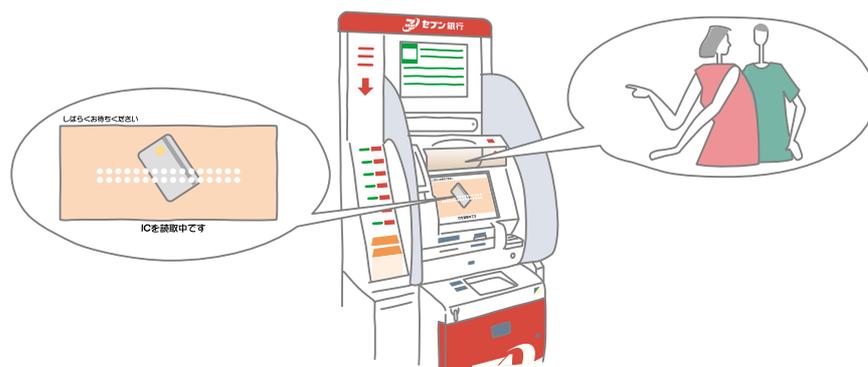
おトクに



定期預金に興味はあるけれど、いざという時に解約できないことが気になる、次の夏休みまでに旅行資金を効率的に預金したい、3年後には家を買いたい……。このような、すぐには必要ないけれど、近い将来自由に使え、かつ、それまでは好金利で貯蓄したいという方には、セブン銀行の定期預金がおすすです。満期日が自由に選べて中途解約も簡単なうえ、金利の面でも努力しているのが自慢です。

安心・安全に

こんな時代だからこそ、自分のお金は安心して、安全に管理したい。セブン銀行では、お金を預けていただく側の責任として、すべての場面で安全を最優先に考えています。セブン銀行口座のキャッシュカードにはICチップを搭載、またインターネットでのお取引でもセキュリティキーボードを導入するなど、最大限の配慮を行っています。セブン銀行は、いつ、どこでご利用いただいても安全な環境を実現します。



CS (お客様満足)への取り組み

お客様の声は、宝物に。 セブン銀行のファンになっていただくために、 私たちができること。

CS (Customer Satisfaction = お客様満足)はセブン銀行にとって、すべての事業の中心になる考え方です。

セブン銀行では、お客様の声を「テレホンセンター」と「ATMコールセンター」でおうかがいしています。これらのセンターでは、訓練と経験を積んだ専門のオペレーターが、お客様のご質問にお答えしています。機械の不具合など即座に対応すべきもの以外の各種ご要望やご意見はレポートにまとめ、お客様対応の専門部門であるお客様サービス部で毎日必ず内容を協議します。さらに踏み込んだ検討が必要と判断したものは、関連部門が集まって毎月開催する「お客様ご意見検討会」等において議論し、次の商品やサービスにお客様にとって最適なかたちで反映させます。お客様にご満足いただくこと、これがセブン銀行の喜びなのです。

お客様の声に耳を傾ける

お客様の声から誕生したセブン銀行にとって、お客様の声に耳を傾けることは、当然すぎるほど当然のことです。ことにセブン銀行ATMは、全国500以上の金融機関の“窓口”でもあり、ここでお客様にご不便をおかけすることは提携金融機関にもご迷惑をかける結果となります。小さな不具合も、「操作がわからない」というお問合せも、「こんなことができたらいいいのに」というご要望も、すべて「お客様の声」としていつも大切に手元において、一つひとつ誠実に対応しています。

お客様の潜在ニーズを発見する

私たちはお客様からのお問合せやご要望の奥にこそ、真のニーズが潜んでいると考えています。たとえば一つひとつはATM画面についての軽微な操作に関するお問合せでも、それが10件20件とまとまれば、そこに何か不具合があるのではないかと考える。説明の文字を大きくするだけでお問合せが激減することもあります。そうした細かな工夫の積み重ねも、私たちの取り組んでいるCSです。

私たちがセブン銀行です

**窓口がなくても、できるだけお客様にご不便を感じさせないこと。
それが私たちの使命だと思っています。**

たとえばお叱りの電話であっても、私たちはすべて「応援のエール」だと感じています。どんな理由があるにせよ、わざわざ貴重な時間を使ってお電話をくださったわけですから、それだけで私たちはうれしい。「どうしてこうできない?」という声は、「もっと便利になってほしい」という期待の表れ。もちろん不具合にはすぐに対処しま

すし、必要な改善はすぐに担当部門へ連絡します。窓口がなくてもお客様にご不便をおかけしないように、そしてお客様に「電話して良かった」「声が届いた」と感じていただけるよう努めることが、私たちの当然の仕事。それがCSなのだと考えます。

お客様サービス部
後藤 正子





生活のなかで、当たり前存在に

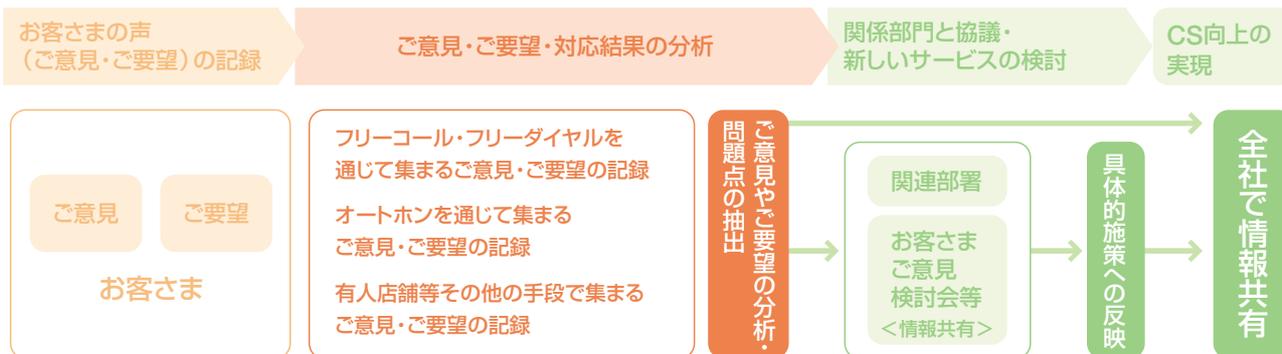
新世代ATMの導入や定期預金サービスの誕生の裏には、いつもお客さまの声がありました。しかしそれは、「新しいATMを作ってほしい」とか「定期預金がほしい」といった具体的な声だけではありません。私たちは、常にお客さまからのご希望やご要望を踏まえて、「こんなサービスを提供すれば、お客さまにきっと喜んでいただける」と判断し、かたちにするという作業を繰り返しています。新しいATMも定期預金もこうした作業の中から誕生したのです。お客さまからのお誉めの言葉はうれしいことですが、それ自体が目標ではありません。セブン銀行のサービスが日常にとけ込み、なんの違和感も不具合もなく利用され続けること、それこそがCSの目標です。だからこそ、お客さまから声をいただける限り、セブン銀行は進化し続けます。社会のインフラとして必要十分なサービスを提供できるよう、私たちはCS向上への取り組みを続けていきます。

親と子をつなぐコミュニケーションマガジン『森の戦士 ポノロン』に協賛しています。

セブン銀行では、株式会社ノース・スターズ・ピクチャーズ発行のポラメル(親と子をつなぐコミュニケーションマガジン)『森の戦士 ポノロン』の、「読み聞かせ絵ものがたり」に対する想いに共感し、協賛というかたちで絵本の企画、配布等に関わっています。2005年6月より、隔月で毎回100万部を発行し、セブンイレブン店舗等の協力を得て、配布をしています。



お客さまから寄せられた声の反映フロー





ATMサービス

いつでも使える、セブン銀行

ATM稼働率は99.9%超。 正真正銘、「いつでも」使えるATMです。

セブン銀行の大きな特徴のひとつは、「24時間365日使えるATMサービス」です。それゆえATMの安定稼働には、常に最大限の力を注いでいます。そもそもATM自体の機能を絞り込むことで、故障とメンテナンスの回数を削減。万一トラブルが起きても、日本全国すべての場所でスタッフが急行する体制になっています。また紙幣の過不足も機械1台1台個別に管理しており、紙幣の補充や回収で

不便をおかけすることを最小限に抑えています。その結果、2005年度のATM稼働率は99.9%（自社調査数値）を超えています。その背景にあるのは、「お客さまにご不便をおかけしてはいけない」という考えと、今や社会のインフラともいえるATM網を提供することへの責任です。この思いが「いつでも使える」ATMを実現しているのです。



私たちがセブン銀行です

**お客さまの期待に応えるために、
ATMの現金がなくならないよう努めています。**

ATMは、実は1台1台、使われ方に大きな差があります。お引出しを中心のATMもあれば、お預入れが圧倒的に多いATMもある。私たちは、すべてのATMについて、個々に“使われ方の特徴”を把握しています。そのデータを分析することで、ATM内の紙幣がいつなくなるのかをほぼ正確に予測し、紙幣切れによってATMが止まらないよう

備えています。ほとんどのセブン・イレブン店舗には、ATMは1台しかありません。これが止まると、お客さまに大きなご不便をおかけしてしまいます。ATM1台1台がいつでもご利用いただけるよう努める。これは当たり前のことですが、ATM網がどれほど大きくなろうと決して変わらない、私たちの本質的な仕事です。

ATM業務管理部
伊藤 浩太郎





ATMサービス

だれでも使える、セブン銀行

カードを入れた瞬間、 その金融機関のATMになる。 500種類以上のカードが使用可能です。

セブン-イレブンやイトーヨーカドーを訪れるお客さまがお持ちのカードは、千差万別です。できるなら、そのすべてのカードが使えるATMでありたい。セブン銀行では、より多くのお客さまにご利用いただけるよう、日本全国の金融機関と積極的に提携を進めてきました。2006年6月末現在、527の金融機関と提携。都市銀行や地方銀行をはじめ、信用金庫、信用組合、労働金庫、JAバンク、JFマリン

バンク、日本郵政公社（郵便貯金）、証券会社や生命保険会社、クレジットカード会社など、さまざまな会社のカードをご利用いただけます。しかも、提携銀行については、お客さまがお持ちのカードを入れると、ATMのディスプレイはその銀行オリジナルの画面に。いつもご利用になっている感覚で、お金の出し入れができます。いろいろなカードがご利用いただけるよう、これからも努力していきます。

銀行



静岡銀行

スルガ銀行

常陽銀行

東邦銀行

殖産銀行

山口銀行

東京スター銀行

八千代銀行

第四銀行

京葉銀行

みなと銀行

仙台銀行

ジャパンネット銀行

三菱東京UFJ銀行

横浜銀行

八十二銀行

名古屋銀行

ホクギン
北越銀行

山形しあわせ銀行

びわこ銀行
BivakoBank

栃木銀行

札幌銀行

新銀行東京

宮崎太陽銀行

ふれあいさわやか
山梨中央銀行キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

りそな銀行

千葉銀行

滋賀銀行

十六銀行

肥後銀行

福島銀行

茨城銀行

静岡中央銀行

千葉興業銀行

明日の夢人から人へ
宮崎銀行

佐賀銀行

七十七銀行

新生銀行

埼玉りそな銀行

足利銀行

福岡銀行

広島銀行

東京都民銀行
TOKYO TOMIN BANK

北洋銀行

群馬銀行

親和銀行

熊本ファミリー銀行

長野銀行

佐賀共栄銀行

大光銀行

イーバンク銀行

三井住友銀行

京都銀行

武蔵野銀行

清水銀行

山形銀行

夢ひろげるニューリアルバンク
関東つくば銀行

近畿大阪銀行

中国銀行

BANK
トマト銀行

SAIKYO 西京銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

TOWA 東和銀行

citibank

BANCS 加賀都市銀行
みずほ銀行

信用金庫(263の信用金庫)

信用金庫
Face to Face
利用できない「信用金庫」カードもあります。

信用組合(122の信用組合)

信用組合
利用できない「信用組合」カードもあります。

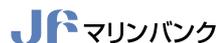
労働金庫(13の労働金庫)

R ろうきん

JAバンク



JFマリンバンク



日本郵政公社

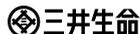


証券会社



*イー・トレード証券は、7月1日からの新しいロゴを掲載しています。

生命保険会社



クレジットカード会社、信販会社、消費者金融会社、事業者金融会社



*マークや発行会社が同じでも、カードの種類により、ご利用いただけないカードがあります。

今後提携予定の金融機関(既公表)



※金融機関によってご利用時間・手数料が異なります。
 ※上記以外に、当社提携金融機関経由でご利用いただける金融機関もあります。

(2006年6月末現在)

私たちがセブン銀行です

日本はもちろん、世界のカードが使えるATMを目指します。

皆さん、お気づきでしょうか？ 私たちのATMのディスプレイ表示が、各都道府県ごとに違っていることを。その地域で多く利用される金融機関の情報が、トップ画面になっているのです。私の仕事はどんなカードをお持ちのお客さまでもご利用いただけるよう、提携金融機関を増やすこと。幸い、多くの金融機関が当社ATMを「自社のATMを補完、

あるいは代替する重要なサービス」と考えてくださり、提携先も順次増えてきました。この結果、すでに日本の金融機関すべての業態との提携を実現しております。あとは世界のカードが使えるようになれば、海外からの観光客の方にも新たな利便性をご提供できるでしょう。その日を夢見て、取り組みを続けます。

業務推進部
久保田 尚嗣





安心して使える、セブン銀行

全ATMでICカードに対応。 安心と安全を、 どこまでも追い求めています。

セブン銀行ATMで何よりも重視しているのは、お客さまの安心と安全、そして使いやすさです。コンビニ店内という、周囲に人の多い状況のなかで、いかに安心してお使いいただくか。プライバシーを保護しつつ、ストレスのないスピードや操作性を確保し、さらに故障等を最小限に抑えると同時に万一の場合に備える。サービス開始当初から、私たちは何重ものセキュリティ対策を施してきまし

た。その結果、お客さまはもちろんセブン-イレブン店舗のオーナーさまや提携金融機関からも、高い評価をいただいています。さらに2005年7月からは、最先端の機能と工夫を搭載した新世代ATMを導入。2009年完了を目標に全ATMの入れ替えを行っています。安心と安全を追求するセブン銀行の取り組みには、終点はありません。

新世代ATMの「進化のポイント」

従来機比処理速度4倍、 容量2倍の「高速大容量化」を実現

新たな紙幣カウントシステムを開発し、お金を数える速度を約4倍に高めました。1時間に取引可能な件数は、従来の60件から100件にアップ。さらにATM機内にストック可能な紙幣枚数を2倍にするとともに、現金を格納しているカセットの数を増やしたことで、カセット交換回数を減らし、ATM停止時間の短縮や管理コストも削減しています。



コンビニATMとして日本初の セカンドディスプレイを搭載

上部に「第2のディスプレイ」を備えています。ここにはATMで使用可能なカードの種類やATMの使用方法、セブン銀行の最新情報などが映し出されます。従来の紙による表示に比べて必要な情報をタイムリーにお知らせできるうえ、ペーパーレスとなることで、資源やコストの削減にもつながります。



国際標準のセキュリティに対応、 さらなる拡張性も確保

従来機からのセキュリティ機能はそのまま継承しつつ、国際接続に必要な国際標準のデータ暗号方式「3DES(トリプルデス) = Triple Data Encryption Standard」に切り替え可能な装置を搭載しています。これにより、海外金融機関との提携も視野に入れた、グローバルなスケールでの暗証番号保護を実現します。さらに新世代ATMは、非接触型ICカードや、生体認証などにも対応可能な拡張性を確保しています。

私たちがセブン銀行です

プライバシー保護と使いやすさに こだわって開発しました。

以前より、お客さまからは「高速化と並んで」できるだけ周囲から見えないように」という、プライバシー保護機能へのご要望をいただいていた。そこで私たちは実際のお店でいろいろな角度からビデオを回し、ATMの見え方を何度もシミュレーションしました。大きく、しかもスライドできる「ついでに」などは、そうして誕生したのです。ただ、お客さまが新しいATM

に戸惑わないよう、外見やボタンの位置などはあえてほとんど変えていません。おかげで新しくなったことに気づかない方が多くて(笑)。私たちは「ATMを極める」ことを目標にしています。だからこそ、設置して5年も経たないATMでもリニューアルするのです。どこまでもお客さま第一のセブン銀行として、これからもATMを進化させていきます。

システム部
深澤 孝治



充実したセキュリティ機能等



左右から操作が見えない「ついたて」

ATMご利用中に背後の様子が確認できるミラー

お困りの時はこの電話でATMコールセンターに直接問合せができます

警備センターにすばやく通報できる防犯ボタン

斜め横から画面が見えない特殊フィルム付きATM画面

操作が見えない奥まった位置にある入力ボタン

買い物袋用大型フック

取り忘れを防止するために光るランプ

店内スペースに合わせたスリムなボディ
(幅:45cm、高さ:190cm、奥行き:55cm)

ATM専用の防犯カメラ

お店の設備とは別に、ATM専用の防犯カメラを配備しています。

ICカード対応

提携している金融機関のICカードがご利用できます(順次対応中)。

高性能警備センサー完備

ATM内蔵の警備センサーがセキュリティ上の問題を感知した場合には、警備員がお店へ急行します。

通信データを守る高度な暗号化処理

ATMネットワークおよびシステムには、複数の強固な暗号化処理をはじめ、二重三重の厳格なセキュリティ対策を施しています。

偽札チェック機能

ATMからのお引出しやお預入れの都度、紙幣の真贋チェックを行っています。

お客さまのATM操作をサポートする機能

ATMコールセンター

ATMの操作でご不明な点やトラブルなどが発生した場合、備付けのオートホンからATMコールセンターにお問合せいただけます。ATMネットワークの拡大にともなって、2005年4月には大阪府に新たなコールセンターを開業しました。東

西2つのコールセンターの稼働によって、障害・災害等が発生した際のバックアップが可能となりました。多くの方にご利用いただいているATMだからこそ、万全のバックアップ体制でサポートしています。





おサイフがわりの、セブン銀行口座

普通預金に加え、定期預金も開始。 便利でお得な口座として、 進化を続けています。

セブン銀行は、お客さまの生活に密着し、多くの方が「こんなことができたらいいのに」とお考えになるサービスを厳選して提供する、「暮らしのいちばん近くにいる銀行」を目指しています。ですから普通預金や定期預金は、おサイフがわりとして気軽にお使いいただけます。また2007年春には、個人向け少額ローンのサービスも開始する予定です。

セブン銀行は、一部の有人店舗を除いて、お客さまと顔を合わせるチャンスがありません。だからこそ、とにかく「わかりやすい」サービスでなくてはならないと考えます。どこまでもお客さまの便利を見据え、簡単に、気軽に、おトクに、そして安全にご利用いただける口座を目指して、セブン銀行はこれからも進化していきます。

全国のATMで手軽に お金が出入りできます

セブン銀行口座は、全国1万1500台を超えるセブン銀行ATMはもちろん、各都市銀行と郵便貯金のATMでもご利用が可能です。

※所定の手数料が必要です。

パソコンで、携帯で、お電話で、 いつでもアクセスできます

セブン銀行口座は、インターネットバンキング、モバイル(携帯)バンキング、テレホンバンキングに対応しています。残高照会や入出金の明細照会、各種情報の変更など、ほとんどの手続きで、原則いつでもアクセスできます。

24時間365日、 いつでもご利用いただけます

セブン銀行口座は、セブン銀行ATMで最長24時間365日、夜中や早朝、ゴールデンウィークや年末年始でも、あわてることなく入金、出金、お振込(手数料別途)ができます。

セブン銀行口座を開設すると、 すぐに定期預金のお取引が可能です

2006年3月にスタートした定期預金は、セブン銀行口座をお持ちの方ならすぐにお取引可能。インターネットなどで1万円から簡単に定期預金が始められます。

※2006年度中にATMでも定期預金のお取引ができる予定です。

気軽

便利

私たちがセブン銀行です

便利さに加えて、 「おトクさ」にも注目してください。

ATMの便利さは、セブン銀行の何よりのセールスポイントですが、セブン銀行口座にもいろいろとおトクな部分があるんですよ。たとえば手数料。2006年3月に振込手数料の引下げを実施し、わかりやすく負担にならない料金となっています。それからセブン銀行ATMを利用する場合には、曜日に関わらず7時～19時は引出手数料が無料です。

また、新しく誕生した定期預金は満期日の設定や一部解約など自由度も高く、予想を超えた人気を呼んでいます。普通預金が「おサイフ」なら、定期預金は「へそくり」だと、私は思っています。これからもお客さまに支持される商品を開発して、どこまでも身近な銀行になっていきたい。特に主婦やOLの皆さまに、もっとアピールしたいです。

業務開発部
喜多山 美弥



口座維持手数料は かかりません

セブン銀行口座には、通帳はありません。また口座維持手数料はいただきません。口座残高やお取引明細はインターネットや電話で簡単に確認できます。

※お取引明細表郵送サービス(有料)もあります。

土・日・祝日も、 日中はATMの手数料が無料です

セブン銀行口座は、セブン銀行ATMを利用する場合には、曜日に関わらず7時～19時は引出手数料が無料。振込手数料も、セブン銀行口座宛は52円(消費税等含む)、他行宛は210円(消費税等含む)のシンプルな料金体系です。

※ATMでのお振込は時間帯によって別途手数料がかかります。

定期預金は手数料なしで、いつでも解約可能です

セブン銀行の定期預金は、期間が1カ月～5年の間でお客さまのニーズに合わせて自由にお選びいただけます。満期日前の一部解約も、インターネットなどですぐに行うことができます。

※所定の中途解約利率が適用されます。

万全のサポート体制とセキュリティ体制で、 安心して安全にお使いいただけます

●総合窓口[テレホンセンター]

セブン銀行に関するあらゆるお問合せは、テレホンセンターで受付けています。

受付時間/8時～21時

※カード紛失等の緊急連絡は24時間受付けています。



●[システム運用センター]

セブン銀行の中核である入出金のシステムやネットバンキングシステム等を、管理・運用。システムの安定稼働を24時間監視しています。



●[事務センター]

お客さまからご郵送いただいた口座開設申込書は、事務センターで集中管理。住所変更などさまざまな事務手続きを、迅速かつ効率的に処理します。



●ICカード対応

セブン銀行の新規発行するキャッシュカードにはICチップを搭載。また全国すべてのセブン銀行ATMがICカードに対応しています。



●通知メールサービス

ATMやリモートバンキングのお取引内容を、お客さまにご登録いただいたメールアドレスへその都度ご連絡します。

●セキュリティキーボード対応

インターネットバンキングに、パソコンのキーボード操作の履歴が残らないセキュリティキーボードを採用。スパイウェアを使ったパスワード盗用などへの対策として有効です。

●キャッシュカードの 暗証番号の変更が簡単

インターネットバンキング、モバイルバンキング、テレホンバンキングで簡単に暗証番号が変更できます。2006年度中に、ATMでもキャッシュカードの暗証番号変更ができる予定です。

(2006年6月末現在)

おトク

安心・安全



みんなの銀行窓口、セブン銀行

有人店舗「みんなの銀行窓口。」は、新しい銀行の便利を探す「アンテナショップ」です。

2005年4月、イトーヨーカドー蘇我店に、セブン銀行初の有人店舗「みんなの銀行窓口。」を開設しました。この窓口は、口座開設や現金振込といったセブン銀行のサービスを提供するだけでなく、提携する金融機関の取次ぎや代理業務も行っています。私たちが目指すのは、お金に関する総合相談窓口。たとえば住宅ローンを組みたいお客さ

まのご事情やご希望をうかがい、お客さまにもっともふさわしいローンをアドバイスしたり、老後のお金に関するご相談に応じたり。有人店舗では「お客さまは、お金に関してどのような疑問や要望をお持ちなのか」とアンテナをはりながら、セブン銀行だからこそできる、新しい銀行窓口サービスをご提供していきたいと考えています。

「みんなの銀行窓口。」でご利用いただけること

1 複数の銀行や証券会社の商品を比較検討しながら選ぶことができます

「みんなの銀行窓口。」店頭には、提携金融機関の各種商品を紹介するパンフレット等を用意しています。また店内にはインターネット端末も用意しています。これらを利用して、商品の比較検討をしていただけます。パソコンの苦手な方にはスタッフが操作方法をご案内しますので、遠慮なく声をおかけください。



2 提携先の銀行や証券会社の口座開設や商品のお申込等を取次ぎます

セブン銀行の口座開設や、提携銀行の口座開設申込受付け、資料請求申込みの取次ぎ、また証券会社の口座開設申込みの取次ぎ等を行っています。ですから、日常のお買い物のついでに用事が済みます。また、提携銀行の代理店として、土・日・祝日も住宅ローン等の仮申込みを受付けたり、テレビ電話を通じた住宅ローンのご相談などを受付けています。

※取扱可能な金融機関および商品・サービスは店舗により異なります。



私たちがセブン銀行です

お客さまには関係なかったこれまでの銀行の常識。私たちはどんな声にも応えられる「なんでも屋銀行の窓口」を目指します。

「ここ、何をやる場所ですか?」と、よく聞かれます(笑)。私は「ここはお金の相談所なんですよ」とお答えします。すると「ああ、そういえば」と、さまざまな話がお客さまからあふれ出します。年金の話だったり税金の話だったり、お金の心配を抱えているお客さまがいかに多いことか。いままでの銀行の常識では「そんなことできない」と思われるご要望も、ど

んどんできます。私はここに、新しい可能性を感じるんですよ。安心してお金の相談ができるお客さまの立場に立った窓口には私たちがなれば、と思うのです。今はアンテナショップとしてさまざまな試みをしている段階ですが、提携先金融機関が増えれば、「いろいろな金融機関の窓口」として今までにないサービスが提供できると信じています。

イトーヨーカドー
亀有店出張所 所長
神山 芳和





3 お金に関する疑問やご相談に、可能な限りお答えします

お金に関してお困りのことや不安なこと、疑問や気になる商品など、どんなことでも結構ですので、お気軽にご相談ください。スタッフができる限りのアドバイスを行います。中立な立場の「お金の総合窓口」として、ぜひご利用ください。



4 手数料500円で、窓口での現金振込ができます

セブン銀行の「みんなの銀行窓口。」では、時間や曜日、振込金額などに関係なく、振込手数料一律500円(消費税等含む)で窓口現金振込ができます。お買い物ついでに立ち寄れるので、好評です。

※個人名義のお振込に限ります。
※当日振込は平日14時受付分まで。
以降は翌平日扱いとなります。



銀行代理業務

-  **三井住友銀行** ※1
-  **千葉銀行** ※2
-  **埼玉りそな銀行** ※1

銀行の各種取次ぎサービス等 ※3

-  **千葉銀行**
-  **三菱東京UFJ銀行**
-  **三井住友銀行**
-  **りそな銀行**
-  **埼玉りそな銀行**
-  **武蔵野銀行**
-  **citibank**
-  **らくそん**

証券会社の口座開設申込みの取次ぎサービス等

-  **野村証券**
-  **日興コーディアル証券**
-  **E*TRADE JAPAN**
-  **マネックス証券**
-  **TOYOTA securities** **トヨタ証券**
-  **松井証券**
-  **楽天証券**
-  **大和証券 Daiwa Securities**
-  **丸三証券**

* イートレード証券は、7月1日からの新しいロゴを掲載しています。

いろいろな金融商品の取次ぎサービス

-  **Moneyport**
-  **JCB送金名人**
-  **JTB たびたび**
-  **ANA Sales 旅行積立**
-  **PYRAMID PLAN** 三井物産の金・プラチナ積立
ピラミッド・プラン

(2006年6月末現在)

※1 イトヨーカードー川口店出張所のみでのお取扱いとなります。 ※2 イトヨーカードー蘇我店出張所のみでのお取扱いとなります。 ※3 出張所によってお取扱いする銀行が一部異なります。

金融機関の皆さまへ

ATMサービスや、窓口業務の アウトソーシングはいかがでしょうか。 全国ネットと便利なサービスでお応えします。

セブン銀行は、一般のお客さまと多くの金融機関をつなぐ、新しいタイプの銀行です。金融機関の皆さまには、セブン銀行をご活用いただくことで、1日に1千万人を超えるセブン-イレブンやイトーヨーカドー利用者との、新たな接点を構築いただけると自負しています。たとえば、すでに500以上の金融機関にご提携いただいているATMサービスは、「自社で設置し維持管理することを考えれば、コスト面でもセキュリティ面でも大

きなメリットがある」「統合ATMとは別のネットワークなので、万一の際のリスク分散になる」など、高い評価をいただいています。さらに2005年から首都圏でスタートした有人店舗では、各種サービスの取次ぎや代理業務を提供。「土・日・祝日や時間外も開いており、お客さまとの新しい接点として期待している」といった声が寄せられています。これまでにない金融サービスのかたちを、ぜひセブン銀行とともにつくり上げませんか。

1万1500台以上のATM網を活用できます

全台がICカードに対応しているなど、常に最先端のセキュリティ機能を備えたATMネットワークを活用いただけます。セブン-イレブンで入出金できることで、お客さまの利便性が格段に向上。しかもATMの維持管理・運営はセブン銀行が責任をもってトータルに行っています。

高度なセキュリティでリスクを分散

セブン銀行ATMは有人の店内に設置されており、犯罪リスクが低い上に何重ものセキュリティ対策を実施。しかもATMと提携金融機関を結ぶ中継システムは横浜と大阪で二重化しており、災害時等にも稼働を続けることが可能です。自社ネットワークを補完するシステムネットワークとして活用できます。

(右図をご参照ください)

セブン銀行との 提携による メリット

金融機関ごとの画面設定が可能です

提携銀行のキャッシュカードであれば、お客さまがATMにカードを入れた瞬間から、各行のオリジナル画面になります。また利用時間外にカードが挿入されると「明日〇時よりご利用可能です」といった表示が出るなど、細かなユーザビリティにも配慮しています。

営業チャンスが広がります

有人店舗は、すべてがイトーヨーカドー店内にあります。普段は金融機関の窓口を訪れないお客さまに対しても、さまざまな商品やサービスのアピールが可能になります。土・日・祝日も営業していますので、サービス提供時間も拡大でき、お客さまの利便性が向上します。

私たちがセブン銀行です

提携金融機関とは、東西2ルートで接続。 自社のATMと同様に使っていただけるよう、努力しています。

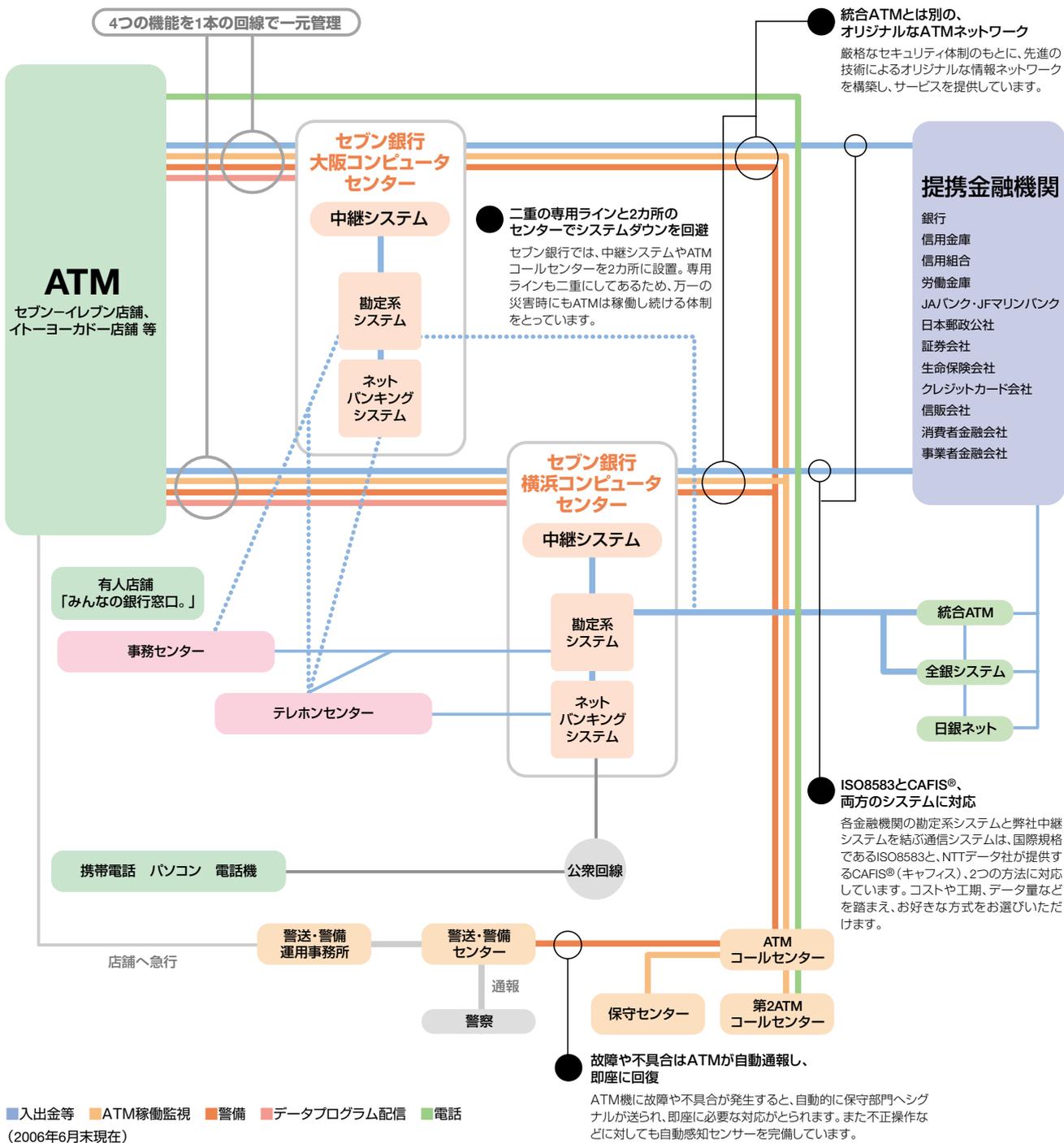
このATMは、あらゆる意味で“すべての金融機関の共同端末”だというスタンスで作られ、運用されています。セブン銀行も提携銀行のひとつに過ぎません。2006年1月に勘定系システムを更新した際も、セブン銀行口座の取引は数日止めましたが、ATM自体は稼働していました。セブン銀行独自のネットワークを構築し、しかも互いにバックアップ

機能を持ったシステムが東西のセンターで稼働しているため、安全性も自由度も高いのです。以前ある金融機関でシステム障害が発生した際も、「自社ATMは使えませんが、セブン銀行では入出金できます」と案内をしたとかがっています。金融機関の皆さまに自社のATMと同じ信頼度でご活用いただけるよう、これからも工夫を凝らしていきます。

システム部
青柳 伸之



セブン銀行のシステムネットワーク



ISO8583

金融端末（中継システム含む）と金融機関の勘定系（入出金システム）との間で、カード取引情報をやりとりするための通信手段を規定した『国際規格』の名称。当社の『ATM』と『中継システム』『勘定系システム』ならびに提携金融機関のシステムは、この『ISO8583』に準拠した手順等を採用し、ネットワーク化されています。

* ISO（国際標準化機構） International Organization for Standardization
* ISOは、ギリシャ語の「等しい・同等」等を意味する「isos」に由来するといわれています。

CAFIS®（キャフィス）

NTTデータが提供するオンラインクレジット情報サービスの名称。クレジットカード会社や金融機関等を通信回線で結び、入出金情報をオンラインで中継するサービス。

* CAFIS Credit And Finance Information System
* CAFISは株式会社NTTデータの登録商標です。

ATM

現金自動預払機

* ATM Automatic Tellers Machine CD（Cash Dispenser 現金自動支払機）

統合ATM

都市銀行や地方銀行等、業態の異なる金融機関のATMを相互接続するためのシステムネットワークの名称。2004年1月4日より稼働。

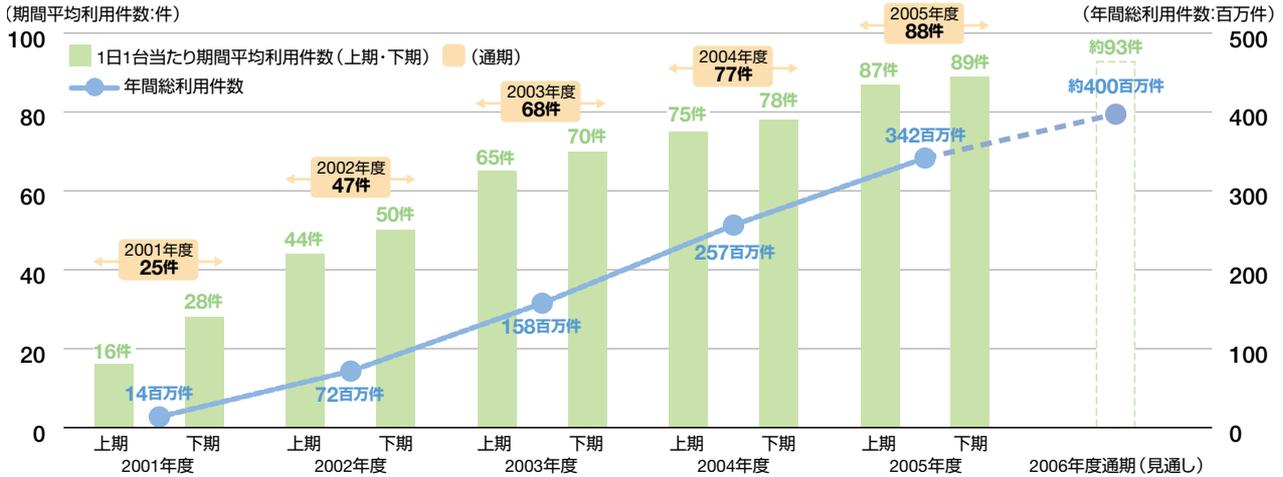
全銀システム

国内にある銀行間の振込等の取引に関するデータの交換、および資金決済を行なうシステム『全国銀行データ通信システム』の略称。銀行や信用金庫等、日本のほぼすべての民間金融機関が参加しています。当社では、2001年6月に『全銀システム』と直接接続したことにより、「他行からセブン銀行口座へのお振込」、「セブン銀行カードを利用した他行へのお振込」が可能となりました。

ATMの利用状況

年間総利用件数は対前年85百万件増の342百万件。1日1台当たりの平均利用件数は11件増の88件と順調に増加。

1日1台当たり期間平均利用件数*・年間総利用件数*の推移

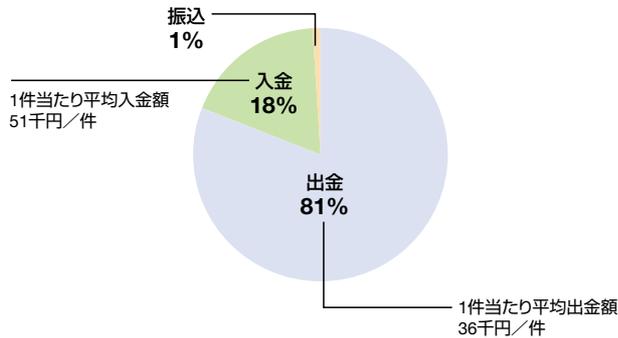


*入金・出金・振込件数の合計。残高照会は含まず。

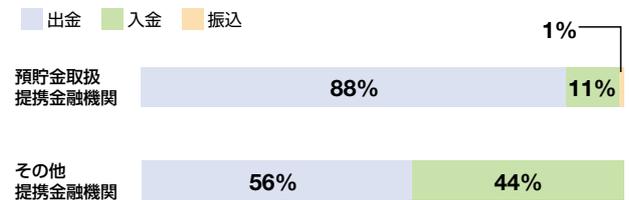
サービス別 利用件数内訳

2005年度

全体 (セブン銀行除く)

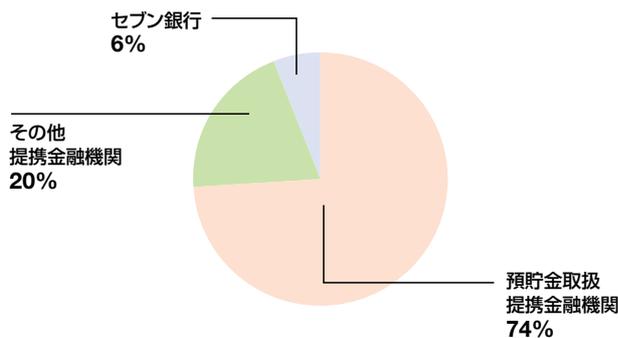


業態別



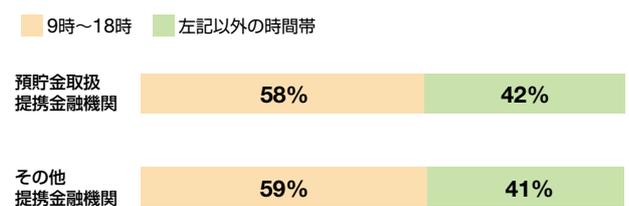
業態別 利用件数内訳

2005年度



業態別 時間帯別利用件数内訳

2006年3月



*利用件数は、入金・出金・振込件数の合計。残高照会は含まず。

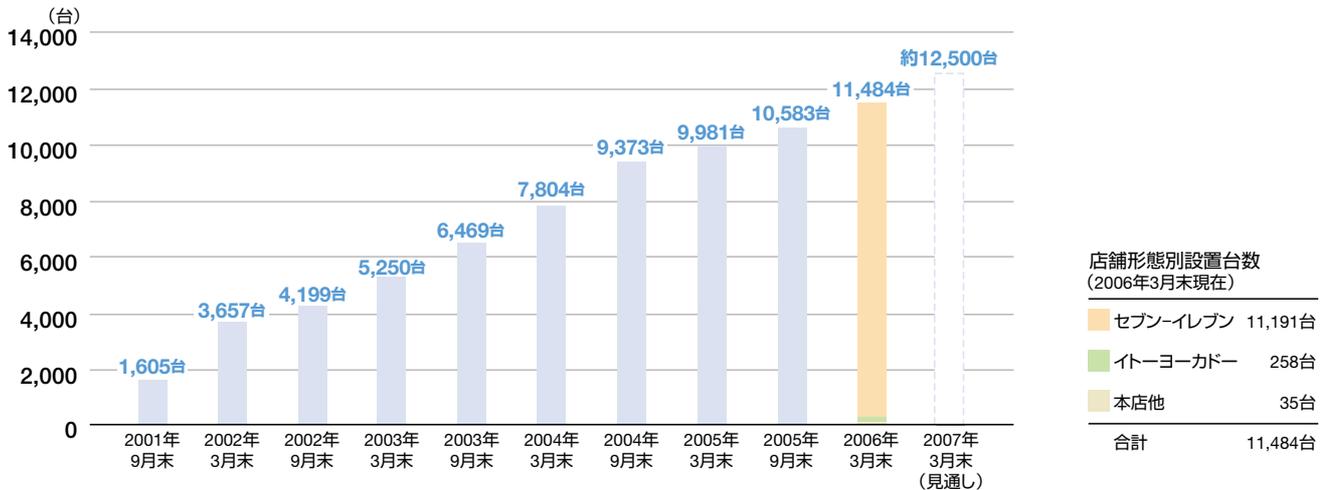
*預貯金取扱提携金融機関…提携銀行・信用金庫・信用組合・労働金庫・JAバンク・JFマリンバンク・日本郵政公社(セブン銀行除く)。

*その他提携金融機関…証券会社・生命保険会社・クレジットカード会社・信販会社・消費者金融会社。

ATMネットワークの展開状況

ATM設置地域は新たに6県加わり30都道府県に拡大。ATM設置台数は1,500台強増加し、約11,500台。2006年度はセブン-イレブン出店地域でATM未設置の岩手県、奈良県、和歌山県、大分県の4県にATMを展開する予定。

ATM設置台数の推移



セブン銀行口座(個人)の状況

2005年10月の社名変更以後、口座開設申込みが増加。2005年度、普通預金の口座数は106千口座増加し331千口座。残高は2006年3月20日に開始した定期預金23億円を含め520億円となる。

口座数・残高の推移(個人)



口座(個人)内訳

2006年3月末現在

男女構成比

■ 男性 ■ 女性



参考:
セブン-イレブン
2005年秋
来店客調査



年代構成比

■ 10代以下 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代以上



参考:
セブン-イレブン
2005年秋
来店客調査



業績ハイライト

損益状況

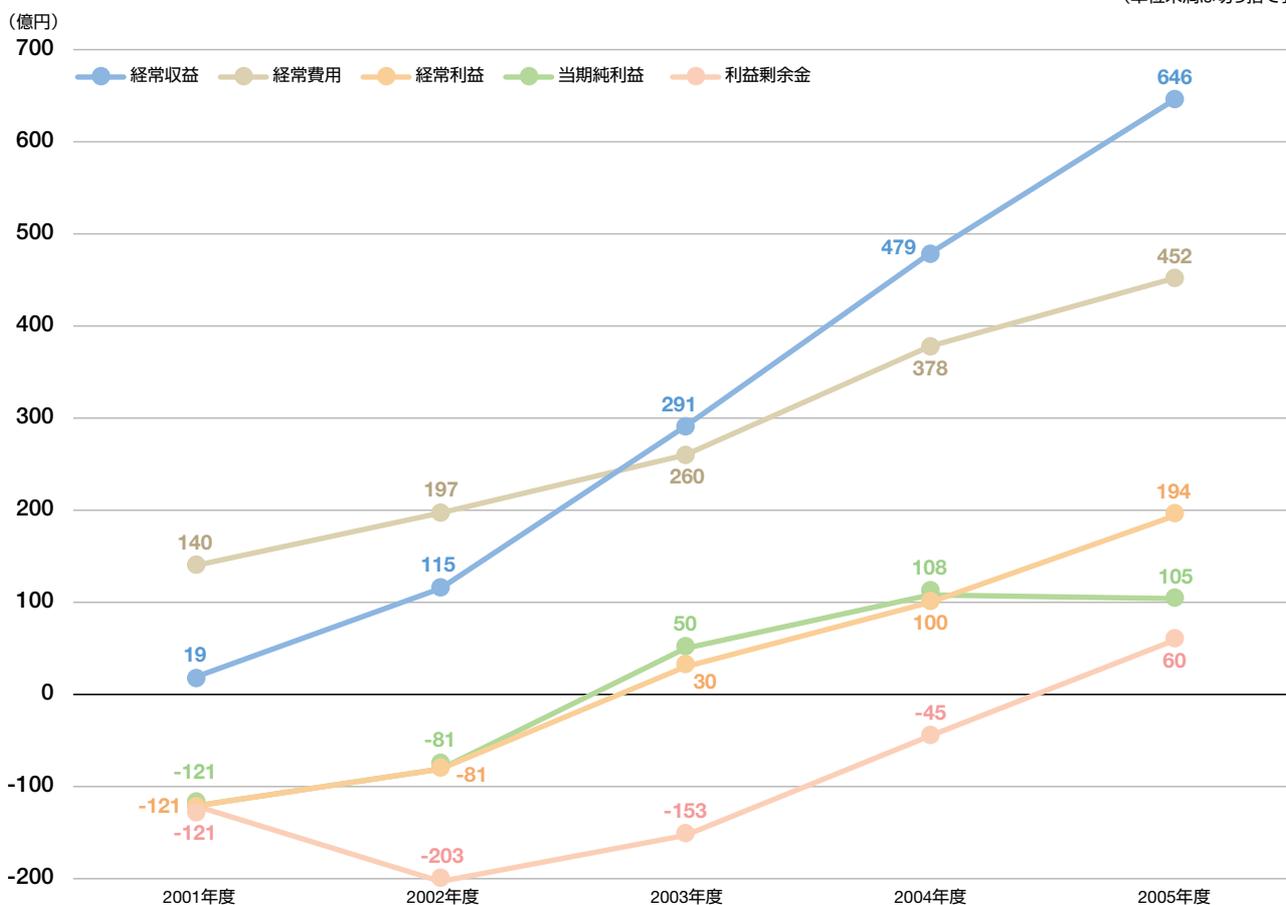
(単位未満は切り捨て表示)

	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	対前期増減率
経常収益	19億円	115億円	291億円	479億円	646億円	34.7%
経常費用	140億円	197億円	260億円	378億円	452億円	19.2%
経常利益	△ 121億円	△ 81億円	30億円	100億円	194億円	92.6%
特別損益	—	△ 0億円	△ 1億円	△ 1億円	△ 28億円	—
法人税等及び法人税等調整額	0億円	0億円	△ 21億円	△ 9億円	60億円	—
当期純利益	△ 121億円	△ 81億円	50億円	108億円	105億円	△ 2.3%
期末ATM設置台数	3,657台	5,250台	7,804台	9,981台	11,484台	15.0%
年間総利用件数*	14百万件	72百万件	158百万件	257百万件	342百万件	33.0%

*入金・出金・振込件数の合計。残高照会は含まず。

損益推移

(単位未満は切り捨て表示)



資料編

目次

- 28 営業の概況
- 30 貸借対照表
- 32 損益計算書／利益処分計算書／損失処理計算書
- 33 キャッシュ・フロー計算書／主要経営指標
- 34 その他の財務等情報
 - 粗利益・業務純益
 - 資金運用勘定・資金調達勘定の平均残高等
 - 受取・支払利息の増減
 - 利益率
- 35
 - 預金平均残高
 - 預金期末残高
 - 定期預金の残存期間別残高
 - 営業経費の内訳
 - 商品有価証券の平均残高
 - 有価証券の残存期間別残高
- 36
 - 有価証券の平均残高
 - 有価証券の期末残高
 - 預証率
 - 自己資本の状況
- 37
 - 有価証券の時価等情報
 - 金銭の信託の時価等情報
 - デリバティブ取引の時価等情報
 - 貸倒引当金の期末残高
 - 貸倒引当金の期中増減額
 - 資産査定状況
 - 社債の明細
- 38 リスク管理の取り組み
- 39 コンプライアンス(法令等遵守)の取り組み
- 40 会社概要／営業所の名称および所在地
- 41 役員／主要株主
- 42 組織図／セブン&アイ HLDGS.の概要
- 43 5年の歩み
- 44 開示項目一覧
- 45 決算公告(電子公告)

事業の状況

ATM事業の状況

1. 提携および地域展開の状況

新たに、新銀行東京、宮崎銀行、ジャパンネット銀行、長野銀行(2005年4月)、西京銀行、京葉銀行(同5月)、宮崎太陽銀行(同6月)、佐賀銀行、佐賀共栄銀行(同11月)、百五銀行(同12月)、みなと銀行、山梨中央銀行(2006年1月)、七十七銀行、大光銀行(同3月)と提携し、さらに多くのお客さまに当社ATMをご利用いただけるようになりました。

また、JVAバンク、JFマリンバンク(2005年11月)と提携を開始したほか、信用金庫、信用組合、証券会社、生命保険会社、クレジットカード会社、信販会社、消費者金融会社等、銀行以外の業態ともATM提携を積極的に進めました。

この結果、提携先は、銀行13行^[注1]、信用金庫14庫^[注2]、信用組合5組合、JVAバンク^[注3]、JFマリンバンク^[注3]、証券会社3社、生命保険会社1社、その他金融機関6社^[注4]の計44社増加し、2006年3月末現在での提携先は合計で513社となりました。

また、提携先拡充に併せ、新規展開地域として、宮崎県(2005年4月)、山梨県(同8月)、岐阜県、佐賀県(同11月)、三重県(2006年2月)、宮城県(同3月)でのATMサービスを開始しました。2006年3月末現在でのATM設置地域は、東京都、静岡県、埼玉県、大阪府、兵庫県、神奈川県、千葉県、栃木県、愛知県、京都府、長野県、滋賀県、福岡県、茨城県、広島県、福島県、新潟県、熊本県、山形県、北海道、山口県、群馬県、長崎県、岡山県、宮崎県、山梨県、岐阜県、佐賀県、三重県、宮城県(設置順)の30都道府県となっております。

この結果、ATM設置台数は、展開地域を拡大したこと、および既展開地域におけるATMの設置密度を高めたことにより、2006年3月末現在では合計11,484台となり、2005年3月期末の合計9,981台から、1,503台増加しました。

[注1] 銀行の新規提携先は14行あるが、2006年1月1日に提携先のUFJ銀行と東京三菱銀行が合併し、三菱東京UFJ銀行になったため、増加数は13行。

[注2] 2005年3月末の提携信用金庫数は241庫。その後追加提携や信用金庫間の合併があり、2006年3月末現在での提携先数は255庫。

[注3] JVAバンク、JFマリンバンクについては、業態としてそれぞれを1つとしている。

[注4] その他金融機関の新規提携先は7社あるが、2006年1月1日に提携先のユーシーカードとクレディセゾンが統合したため、増加数は6社。

2. 利用の状況

当社ATMでは、当社キャッシュカードによる引出し、預入れ、振込および残高照会に加え、各提携金融機関およびBANCS加盟都市銀行のキャッシュカード等での引出しや残高照会等をご利用いただいております(他金融機関のキャッシュカード等の取扱業務、利用可能時間、手数料等は、それぞれの提携金融機関により異なっております)。当期におきましても、「いつでも」「どこでも」「誰でも」「安心して」使える「みんなのATM。」を目指して、提携先の拡充、展開地域の拡大、設置台数の増加に努めてまいりました。同時に、新規展開地域では、できるだけ早くATMを認知していただくため、また既展開地域ではご利用可能なカードやサービス内容等をより詳しくご理解いただくために、各地域に合わせた効果的な広告宣伝活動等をセブン&アイHLDGS.や提携先と協働して積極的に実施してまいりました。このような取組みにより、利用件数は想定を上回るペースで増加し、2005年12月と2006年3月には、月間1日当たり平均総利用件数が1百万件を突破いたしました。この結果、当期におけるATM1日1台当たり期間平均利用件数は88件、期間総利用件数は3億4千2百万件となりました。

金融サービス事業の状況

当社は主に個人のお客さまを中心に、普通預金、定期預金等を提供しております。2006年3月末現在の口座数は34万9千口座、預金残高は1,817億円となっております。このうち個人のお客さまの口座数は33万1千口座、預金残高は520億円となっており、当社のメインターゲットである個人のお客さまを中心に口座数および残高とも着実に増加しております。なお、2006年3月20日より提供を開始した定期預金は23億円となっております。

2005年4月にアンテナショップとしてイトーヨーカドー内に開設した有人店舗「みんなの銀行窓口。」は、2006年3月末現在で5店舗(蘇我、八千代、川口、葛西、亀有)に拡大しております。なお、このうちイトーヨーカドー川口店出張所では、2006年3月2日より三井住友銀行の銀行代理業務を開始いたしました。

業績および財務の状況

経営成績

当社にとって第5期である2006年3月期の経営成績は、経常収益が646億1千2百万円、経常利益が194億9百万円、当期純利益が105億9千万円となりました。この結果、前期の繰越損失45億1百万円を解消し、開業以来初めて利益剰余金60億8千9百万円を計上いたしました。経常収益、経常利益の増加は、提携先の拡大やATM設置台数の増加、広告宣伝活動の積極的な展開等により、ATMの利用件数が堅調に推移したことによるものです。

また、当期純利益については、経常収益、経常利益が増加したにもかかわらず減少しておりますが、これは、前期は繰越欠損金等にかかる法人税等調整額(9億1千万円)が純利益に対しプラスの方向で計上されていたのに対し、当期は、繰越欠損金等にかかる繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額(21億4千1百万円)が、マイナスの方向で計上された上、新たに法人税、住民税及び事業税(38億7千万円)が計上されたためです。

財政状態

〈資産〉

総資産は3,613億3千8百万円となりました。このうちATM運営のために必要な現金預け金が2,531億1千7百万円とその大部分を占めております。その他、為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保として有価証券(国債と政府保証債のみ)残高が535億7千1百万円、固定資産の大半を占めるシステム開発資産(ソフトウェアおよびソフトウェア仮勘定)残高が111億5千3百万円となっております。

〈負債〉

総負債は2,942億5千7百万円となりました。この大部分を占める預金残高(除く譲渡性預金)1,817億7千万円のうち、個人向け預金が520億4千9百万円、法人向け預金が1,297億2千万円となっております。

〈資本〉

資本金は610億円、利益剰余金は60億8千9百万円となり、資本合計は670億8千万円となっております。なお、自己資本比率(国内基準)は233.49%となっております。

次期業績等の見通し

2006年度におきましても、ATM事業および金融サービス事業において、さらなる事業基盤の拡充に努めてまいります。

ATM事業においては、セブン-イレブンの全出店地域への設置を目指し、ATM展開地域の拡大を図るとともに、既展開地域での追加設置をさらに進め、ATM設置台数を約12,500台に増加する予定です。また、新規地域展開を伴う提携や、既展開地域での提携に加え、セブン-イレブン未出店地域の地方銀行等との提携も推進し、提携先の更なる拡充を図ります。加えて、当社ATMサービスのさらなる認知度向上・利用促進に向け、地域や利用客層等の特質に即した効果的なプロモーション活動を引き続き積極的に展開してまいります。このような施策を実施することで、2006年度のATM1日1台あたりの年間平均利用件数は約93件(前年度比 +5件)、年間総利用件数は約4億件(同 +5千8百万件)を見込んでおります。

また、2005年度より開始した新型ATMの展開を本格的に進めるとともに、当社ATMでICカードを利用できる金融機関をさらに拡大する等、お客さまがより安心してご利用いただけるようセキュリティ面の強化を図ってまいります。

金融サービス事業では、お客さまの多様なニーズにより幅広く対応するため、2007年春を目途に個人向けローンの開始を予定しております。なお、イトーヨーカードで展開する有人店舗「みんなの銀行窓口。」については、銀行代理業務での提携先拡充により、新しい金融サービスのビジネスモデル構築に引き続き挑戦して参ります。

ATM提携・展開の拡大等によるATM事業基盤の一層の拡充を継続することで、2006年度も引き続きATM利用件数が堅調に推移し、経常収益はさらに増加すると見込んでおります。一方、新型ATMの展開や金融サービスの拡充等、より強固な経営基盤の構築に向けた先行投資を積極的に実施することや、これまでリースで調達していたATMを、順次、自社調達に切り替えていくに伴い減価償却費が増加することから経常費用が増える見込みにあるほか、リース期間満了を待たずにATMを前倒しで更新することに伴うATMリース違約金24億円を特別損失として見込む等、2007年3月期の経営成績は、経常収益741億円(前年度比 +14.7%)、経常利益199億円(同 +2.5%)、当期純利益104億円(同 △0.0%)となる見通しです。

(注)上記の見通しにつきましては、現時点(2006年5月8日)で入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、今後の経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により実際の業績は見通しと異なる場合があります。

貸借対照表

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	2006年3月末現在	2005年3月末現在
資産の部		
現金預け金	253,117	240,797
現金	222,528	179,000
預け金	30,589	61,797
有価証券	53,571	26,012
国債	47,568	19,998
政府保証債	6,002	6,014
その他資産	52,846	42,844
前払費用	206	89
前払年金費用	68	58
未収収益	5,706	4,347
金融派生商品	121	—
ATM仮払金	35,127	—
仮払金	—	26,755
ソフトウェア	10,295	7,666
ソフトウェア仮勘定	858	3,904
その他の資産	461	21
動産不動産	928	663
土地建物動産	579	349
保証金権利金	349	314
繰延税金資産	920	3,049
貸倒引当金	△ 45	△ 61
資産の部合計	361,338	313,305

注記事項 (2006年3月末現在)

- 有価証券の評価は、決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は主として移動平均法により算定)により行っております。なお、評価差額については、全部資本直入法により処理しております。
- デリバティブ取引の評価は、時価法により行っております。
- 動産不動産の減価償却は、定率法(ただし、建物(建物附属設備を除く。))については定額法)を採用しております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。
建物 6年～18年
動産 3年～20年
- 自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法により償却しております。
- 貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。
「銀行等金融機関の資産の自己査定に係る内部統制の検証並びに貸倒償却及び貸倒引当金の監査に関する実務指針(日本公認会計士協会銀行等監査特別委員会報告第4号)」に規定する正常先債権及び要注意先債権に相当する債権については、一定の種類毎に分類し、予想損失率等に基づき引き当てております。破綻懸念先債権に相当する債権については、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除し、その残額のうち必要と認める額を引き当てております。破綻先債権及び実質破綻先債権に相当する債権については、債権額から、担保の処分可能見込額及び保証による回収可能見込額を控除した残額を引き当てております。
すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、営業関連部署の協力の下に営

- 業関連部署から独立したリスク統括室が資産査定を実施し、その査定結果に基づいて貸倒引当金の算定を行っております。なお、当該部署から独立した検査部(2006年5月15日より監査部)が査定結果の監査を行うこととしております。
- 賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当期に帰属する額を計上しております。
- 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、必要額を計上しております。なお、当期については、年金資産見込額が退職給付債務見込額に未認識過去勤務債務及び未認識数理計算上の差異を加減した額を超過しているため、超過額を前払年金費用に計上しております。また、過去勤務債務及び数理計算上の差異の費用処理方法は以下のとおりであります。
過去勤務債務 各発生年度の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ当該事業年度から損益処理
数理計算上の差異 各発生年度の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌期から損益処理
- 役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支払いに備えるため、当社内規に基づく期末支給額を引当計上しております。
- リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっております。

(単位:百万円)

科目	2006年3月末現在	2005年3月末現在
負債の部		
預金	181,770	124,776
普通預金	177,981	124,697
定期預金	3,723	—
その他の預金	65	79
譲渡性預金	15,110	65,000
借入金	65,000	40,000
社債	15,000	15,000
その他負債	17,100	11,792
未払法人税等	4,006	210
未払費用	3,125	2,686
前受収益	26	70
金融派生商品	—	580
ATM仮受金	8,833	—
仮受金	—	6,045
その他の負債	1,108	2,198
賞与引当金	148	121
役員退職慰労引当金	128	107
負債の部合計	294,257	256,797
資本の部		
資本金	61,000	61,000
利益剰余金	6,089	△ 4,501
当期末処分利益	6,089	△ 4,501
当期純利益	10,590	10,843
株式等評価差額金	△ 8	9
資本の部合計	67,080	56,508
負債及び資本の部合計	361,338	313,305

10. 一部の資産・負債に金利スワップの特例処理を適用しております。変動金利の相場変動を相殺するヘッジについて、個別にヘッジ対象を識別し、金利スワップ取引をヘッジ手段として指定しております。
11. 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。
12. 動産不動産の減価償却累計額401百万円
13. 貸借対照表に計上した動産不動産のほか、現金自動預払機等・電子計算機及びその周辺機器及びその他の事務用機器等の一部については、リース契約により使用しております。
14. 為替決済、日本銀行当座貸越取引の担保として、有価証券53,571百万円を差し入れております。
15. 1株当たりの純資産額54,984円18銭
16. 有価証券の時価及び評価差額等に関する事項は次のとおりであります。

	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額	うち	
				益	損
債券	53,585 百万円	53,571 百万円	△14 百万円	3 百万円	18 百万円
国債	47,587	47,568	△18	—	18
政府保証債	5,998	6,002	3	3	—
合計	53,585	53,571	△14	3	18

なお、上記の評価差額に繰延税金資産5百万円を加えた額△8百万円が、「株式等

評価差額金」に含まれております。

17. その他有価証券のうち満期があるものの期間ごとの償還予定額は次のとおりであります。

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
債券	53,571 百万円	— 百万円	— 百万円	— 百万円
国債	47,568	—	—	—
政府保証債	6,002	—	—	—
合計	53,571	—	—	—

18. 固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号平成15年10月31日）を当期から適用しておりますが、これによる税引前当期純利益に与える影響はありません。

19. 「ATM仮払金」35,127百万円及び「ATM仮受金」8,833百万円は、従来、「仮払金」及び「仮受金」に含めて表示しておりましたが、創業期を経て事業が本格化したことから、当期より区分掲記することに変更しております。この変更により、上記以外の仮払金及び仮受金がそれぞれ「その他の資産」及び「その他の負債」に含まれることとなったため、「その他の資産」は51百万円増加し、「その他の負債」は20百万円増加しております。

損益計算書

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	2006年3月期	2005年3月期
経常収益	64,612	47,967
資金運用収益	78	26
有価証券利息配当金	78	25
預け金利息	0	0
役務取引等収益	63,973	47,917
受入為替手数料	293	215
ATM受入手数料	61,957	45,877
その他の役務収益	1,722	1,824
その他業務収益	444	—
金融派生商品収益	444	—
その他経常収益	116	23
その他の経常収益	116	23
経常費用	45,203	37,892
資金調達費用	634	446
預金利息	45	33
譲渡性預金利息	16	24
コールマネー利息	2	1
借入金利息	438	255
社債利息	132	131
役務取引等費用	4,845	3,753
支払為替手数料	108	79
ATM設置支払手数料	4,556	3,554
ATM支払手数料	134	104
その他の役務費用	47	14
その他業務費用	68	518
国債等債券償還損	68	—
金融派生商品費用	—	518
営業経費	39,565	33,002
その他経常費用	88	171
貸倒引当金繰入額	—	50
その他の経常費用	88	121
経常利益	19,409	10,075
特別利益	15	—
貸倒引当金戻入益	15	—
特別損失	2,823	130
動産不動産処分損	47	0
ソフトウェア処分損	1,702	—
その他の特別損失	1,072	130
税引前当期純利益	16,601	9,944
法人税、住民税及び事業税	3,870	10
法人税等調整額	2,141	△ 910
当期純利益	10,590	10,843
前期繰越損失	4,501	15,345
当期末処分利益	6,089	△ 4,501

注記事項(2006年3月期)

- 1株当たり当期純利益金額8,680円89銭
- 潜在株式は存在いたしません。
- 「その他の特別損失」は、商号変更に伴う支出633百万円、リース契約等の解約に伴う支出251百万円、銀行業務の支援契約解除に伴う追加支出187百万円であります。

利益処分計算書

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	2006年3月期
当期末処分利益	6,089
前期繰越利益	6,089

損失処理計算書

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	2005年3月期
当期末処理損失	4,501
次期繰越損失	4,501

キャッシュ・フロー計算書 (監査対象外) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	2006年3月期	2005年3月期
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	16,601	9,944
減価償却費	4,311	3,574
貸倒引当金の増加額	△ 15	50
資金運用収益	△ 78	△ 26
資金調達費用	634	446
有価証券関係損益(△)	68	—
動産不動産処分損益(△)	47	0
預金の純増減(△)	56,993	2,334
譲渡性預金の純増減(△)	△ 49,890	—
借入金の純増減(△)	25,000	35,000
ATM未決済資金の純増(△)減	△ 5,587	△ 6,632
資金運用による収入	292	18
資金調達による支出	△ 561	△ 361
その他	△ 594	1,513
小計	47,223	45,862
法人税等の支払額	△ 10	△ 10
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,212	45,851
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△ 123,394	△ 31,998
有価証券の償還による収入	95,500	28,000
動産不動産の取得による支出	△ 214	△ 145
動産不動産の売却による収入	—	36
ソフトウェアの取得による支出	△ 6,784	△ 4,675
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 34,892	△ 8,783
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	—
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
V. 現金及び現金同等物の増加額	12,319	37,068
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	240,797	203,729
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	253,117	240,797

注記事項: キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は、貸借対照表上の「現金預け金」であります。

主要経営指標 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

	2006年3月期	2005年3月期	2004年3月期	2003年3月期	2002年3月期
経常収益	64,612	47,967	29,117	11,568	1,906
経常利益	19,409	10,075	3,035	△ 8,173	△ 12,168
当期純利益	10,590	10,843	5,027	△ 8,191	△ 12,181
資本金	61,000	61,000	61,000	61,000	61,000
発行済株式の総数	1,220,000 株				
純資産額	67,080	56,508	45,662	40,658	48,833
総資産額	361,338	313,305	259,676	159,928	127,472
預金残高	181,770	124,776	122,442	75,908	35,489
貸出金残高	—	—	—	—	—
有価証券残高	53,571	26,012	22,002	22,605	16,602
単体自己資本比率	233.49 %	182.39 %	201.01 %	221.39 %	300.94 %
配当性向	—	—	—	—	—
従業員数	211 人	181 人	145 人	140 人	119 人

注記事項: 従業員数は、役員、派遣スタッフ、パート社員を除いております。

*2002年3月期は、2001年4月10日～2002年3月31日です。

その他の財務等情報

注記がない限り、単位未満は切り捨てて表示しております。

粗利益・業務純益

(単位:百万円)

	2006年3月期		2005年3月期	
資金運用収支		△ 556		△ 420
役務取引等収支		59,127		44,164
その他業務収支		375		△ 518
業務粗利益		58,946		43,225
業務粗利益率		72.71 %		76.21 %
業務純益		19,381		10,172

国際業務部門の収支はありません。また、特定取引収支はありません。
業務粗利益率は業務粗利益を資金運用勘定平均残高で除して算出しております。

資金運用勘定・資金調達勘定の平均残高等

(単位:百万円、%)

	2006年3月期			2005年3月期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定①	81,064	78	0.09	56,715	26	0.04
うち 有価証券	39,337	78	0.19	24,479	25	0.10
預け金(除く無利息分)	41,726	0	0.00	32,235	0	0.00
資金調達勘定②	290,699	634	0.21	248,044	446	0.17
うち 預金	153,984	45	0.02	117,863	33	0.02
譲渡性預金	42,103	16	0.03	65,000	24	0.03
コールマネー	33,131	2	0.00	22,043	1	0.00
借入金	46,479	438	0.94	28,136	255	0.90
社債	15,000	132	0.88	15,000	131	0.87
資金利ざや(①利回り-②利回り)			△ 0.12			△ 0.13

国際業務部門の資金運用勘定・資金調達勘定はありません。

受取・支払利息の増減

(単位:百万円)

	2006年3月期			2005年3月期		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
資金運用勘定	29	22	52	2	△ 12	△ 10
うち 有価証券	29	22	52	1	△ 11	△ 9
コールローン	—	—	—	△ 0	—	△ 0
預け金(除く無利息分)	0	0	0	0	△ 0	△ 0
資金調達勘定	175	13	188	350	0	351
うち 預金	10	0	11	7	0	8
譲渡性預金	△ 9	1	△ 7	2	2	4
コールマネー	0	0	1	0	△ 3	△ 3
借入金	173	10	183	249	1	251
社債	—	0	0	90	△ 0	90

残高及び利率の増減要因が重なる部分については、両者の増減割合に応じて按分計算しております。
国際業務部門の収支はありません。

利益率

(単位:%)

	2006年3月期	2005年3月期
総資産経常利益率	5.26	3.29
資本経常利益率	28.95	19.64
総資産当期純利益率	2.87	3.54
資本当期純利益率	15.80	21.14

預金平均残高

(単位:百万円)

	2006年3月期	2005年3月期
流動性預金	153,481	117,863
定期性預金	503	—
譲渡性預金	42,103	65,000
合計	196,088	182,863

国際業務部門の預金平均残高はありません。

預金期末残高

(単位:百万円)

	2006年3月末現在	2005年3月末現在
流動性預金	178,047	124,776
定期性預金	3,723	—
譲渡性預金	15,110	65,000
合計	196,880	189,776

国際業務部門の預金期末残高はありません。

定期預金の残存期間別残高

(単位:百万円)

	2006年3月末現在	2005年3月末現在
3カ月未満	391	—
3カ月以上6カ月未満	313	—
6カ月以上1年未満	831	—
1年以上2年未満	207	—
2年以上3年未満	1,478	—
3年以上	500	—
合計	3,723	—

2005年3月末残高はありません。

営業経費の内訳

(単位:百万円)

	2006年3月期	2005年3月期
営業経費	39,565	33,002
うち 人件費	2,487	1,745
物件費	34,752	29,785
うち 業務委託費	14,442	12,092
土地建物機械賃借料	7,502	6,346
減価償却費	4,311	3,574

商品有価証券の平均残高

該当ありません。

有価証券の残存期間別残高

(単位:百万円)

	2006年3月末現在					2005年3月末現在				
	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超	合計	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超	合計
国債	47,568	—	—	—	47,568	19,998	—	—	—	19,998
地方債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	6,002	—	—	—	6,002	—	6,014	—	—	6,014
株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
うち 外国債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外国株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	53,571	—	—	—	53,571	19,998	6,014	—	—	26,012

国際業務部門の有価証券残高はありません。

社債は政府保証債のみ保有しております。

その他の財務等情報

注記がない限り、単位未満は切り捨てて表示しております。

有価証券の平均残高

(単位:百万円)

	2006年3月期	2005年3月期
国債	33,341	15,886
地方債	—	—
社債	5,995	8,593
株式	—	—
その他の証券	—	—
うち 外国債券	—	—
外国株式	—	—
合計	39,337	24,479

国際業務部門の有価証券平均残高はありません。
社債は政府保証債のみ保有しております。

有価証券の期末残高

(単位:百万円)

	2006年3月末現在	2005年3月末現在
国債	47,568	19,998
地方債	—	—
社債	6,002	6,014
株式	—	—
その他の証券	—	—
うち 外国債券	—	—
外国株式	—	—
合計	53,571	26,012

国際業務部門の有価証券期末残高はありません。
社債は政府保証債のみ保有しております。

預証率

(単位:%)

	2006年3月期		2005年3月期	
	(末残)	(平残)	(末残)	(平残)
預証率	27.21	20.06	13.70	13.38

預証率 $\left(\frac{\text{有価証券期末(平均)残高}}{\text{預金債券等期末(平均)残高}} \times 100 \right)$

自己資本の状況

(単位:百万円)

		2006年3月末現在	2005年3月末現在
基本的項目	(A)	67,080	56,498
補完的項目	一般貸倒引当金	42	61
	その他引当金	—	—
	計	42	61
	うち自己資本への算入額 (B)	42	61
控除項目	他の金融機関の資本調達手段の 意図的な保有相当額 (C)	—	—
自己資本額	(A)+(B)-(C) (D)	67,123	56,559
リスク・アセット等	資産(オン・バランス)項目 (E)	28,671	30,974
	オフ・バランス項目 (F)	74	35
計	(E)+(F) (G)	28,746	31,009
自己資本比率(国内基準)=(D)/(G)×100		233.49%	182.39%

有価証券の時価等情報

(単位:百万円)

	2006年3月末現在					2005年3月末現在				
	取得原価	貸借対照表 計上額	評価差額	うち益	うち損	取得原価	貸借対照表 計上額	評価差額	うち益	うち損
国債	47,587	47,568	△ 18	—	18	19,999	19,998	△ 1	—	1
政府保証債	5,998	6,002	3	3	—	5,995	6,014	18	18	—
合計	53,585	53,571	△ 14	3	18	25,995	26,012	16	18	1

国際業務部門の有価証券残高はありません。

金銭の信託の時価等情報

該当ありません。

デリバティブ取引の時価等情報

(単位:百万円)

1. 金利関連取引			2006年3月末現在				2005年3月末現在			
区分	種類	契約額等	契約額等		時価	評価損益	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超				うち1年超			
店頭	金利スワップ	受取変動・支払固定	35,000	35,000	121	121	35,000	35,000	△ 580	△ 580
合計			35,000	35,000	121	121	35,000	35,000	△ 580	△ 580

上記取引については時価評価を行い、評価損益を損益計算書に計上しております。

時価の算定: 割引現在価値等により算定しております。

2006年3月末は特別処理を適用している金利スワップ取引は上記記載から除いております。

2. 通貨関連取引 該当ありません。

貸倒引当金の期末残高

(単位:百万円)

	2006年 3月末現在	2005年 3月末現在
一般貸倒引当金	42	61
個別貸倒引当金	3	—
特定海外債権引当勘定	—	—
合計	45	61

業務上継続的に発生する仮払金等につき、社内規定による一般貸倒引当金を計上しております。

貸倒引当金の期中増減額

(単位:百万円)

	2006年 3月期	2005年 3月期
一般貸倒引当金	△ 18	50
個別貸倒引当金	3	—
特定海外債権引当勘定	—	—
合計	△ 15	50

資産査定状況

(単位:百万円)

債権の区分	2006年3月末現在	2005年3月末現在
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	—	—
危険債権	—	—
要管理債権	—	—
正常債権	35,201	26,756
合計	35,201	26,756

上記は「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づくものです。

社債の明細

(単位:百万円)

銘柄	発行年月日	発行総額	発行価格	期首残高	当期 増加額	当期 減少額	期末残高 (うち1年内 償還予定額)	利率	償還期限
			円 銭					%	
第1回 無担保社債 (適格機関投資家限定)	2003年 12月10日	15,000	100.00	15,000	—	—	15,000 (—)	0.88	2008年 12月10日

リスク管理の取り組み

当社は、経営に係る各種のリスク特性を認識し、適切に管理することにより、経営の健全性と効率性を確保するためのリスク管理体制を構築しております。取締役会により決定される「リスク管理の基本方針」により、全社的なリスク管理方針、各種リスク管理の基本方針、およびリスク管理組織・体制を定めており、この基本方針に基づき、経営会議にてリスク管理に関する諸規程を定めております。

リスク管理組織としては、全社的なリスク管理統括部署としてのリスク統括室リスク管理担当、各リスク管理統括部署、内部監査部署としての監査部等を設置しております。また、リスク管理に関する経営会議の諮問機関として、リスク管理委員会およびALM委員会を設置しております。

信用リスクの管理体制

信用リスクに関する基本方針を「リスク管理の基本方針」に、その下位規程として「信用リスク管理規程」を制定し、これを遵守しております。信用リスクは現状、ATMによる決済業務およびALM操作に関わる優良な金融機関等に対する預け金、資金放出、仮払金等に限定しており、信用リスクを抑制した運営としております。また、自己査定基準、償却引当基準、自己査定・償却引当規程に従い、適正な自己査定、償却引当を実施しております。

市場リスクの管理体制

市場リスクに関する基本方針を「リスク管理の基本方針」に、その下位規程として「市場性リスク管理規程」を制定し、これを遵守しております。「市場性リスク管理規程」にて、リスク額限度、ポジション限度、損失許容限度を設定することを規定し、リスク統括室リスク管理担当がそれらについて日次で計測・モニタリングし、経営あて報告を行っています。なお、月1回開催するALM委員会にて、リスクの状況、金利動向の見通し等が報告され、運営方針を決定する体制としております。

流動性リスクの管理体制

流動性リスクに関する基本方針を「リスク管理の基本方針」に、その下位規程として「流動性リスク管理規程」を制定し、これを遵守しております。「流動性リスク管理規程」にて、運用・調達の期間違いによって生ずるギャップ限度を設定することを規定し、リスク統括室リスク管理担当がそれらについて日次で計測・モニタリングし、経営あて報告を行っています。資金繰り逼迫時には、全社的に迅速かつ

機動的な対応がとれるよう、シナリオ別対策を予め策定し、万全を期しております。また、即時資金化が可能な国債・預金を中心とした運用、コミットメントラインの設定等により緊急時においても資金流動性確保に懸念はないものと考えております。

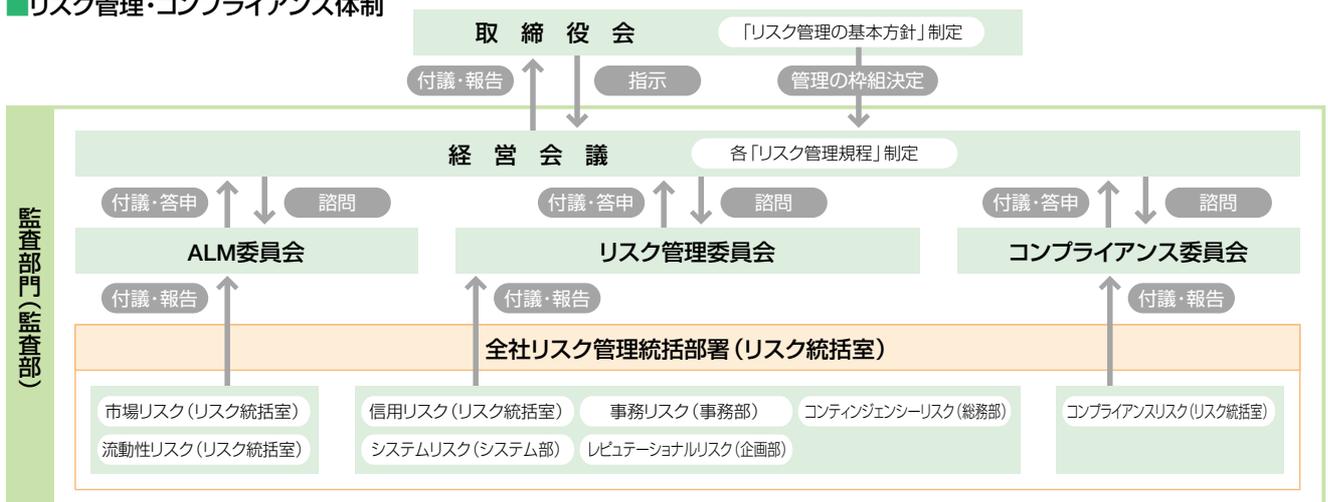
事務リスクの管理体制

当社はATMを中心とした非対面取引を基本とした銀行のため、その特殊性を反映した事務リスクに関する基本方針を「リスク管理の基本方針」に定め、その下位規程として「事務リスク管理規程」を制定し、これを遵守することにより正確・適正な事務処理を確保しております。さらに、当社全部室・センターの自主検査や監査部の内部監査を適正に実施し、事務ミス発生防止、内部不正の防止に努めております。また、口座開設時の本人確認は、本人確認法に則った手続を厳正に行い、不正口座の作成防止、マネーロンダリング防止について独自のシステムで対応しております。一方、お客さまからのお問合せには、ATMコールセンター・テレホンセンターにおいて年中無休でお応えし、苦情等につきましては、事務部門および関係業務部門と連携のうえ、速やかに対応するとともに、重要な案件につきましては経営に報告する体制をとっております。

システムリスクの管理体制

当社では、システムリスクに対する基本的な考え方を「システムリスク管理規程」として定め、規程に基づいたシステムの開発・運用を行うことにより、効率的な開発・品質向上の徹底・安全な運用が実施できるよう努めております。システムの構成は、最新のIT（情報技術）を最大限活用した上で、なおかつ、ネットワーク・ハード機器を2重化・多重化しており、災害・障害時に備え、バックアップセンターでの稼働切替え等の対策を施しております。ファイル・プログラム等のライブラリは、重要度に応じてバックアップを行い、不測の事態に備え隔地保管を実施しております。また、情報管理に関しても、ファイアーウォールによる当社システムへの侵入防止、24時間365日のアクセス監視、お客さまとの間の暗号化通信、ウィルスチェックプログラムの導入等、細心の注意をもって対応しております。さらには、お客さまに安心して当社のサービスをご利用いただけるよう障害・災害等の不測の事態に備え、予めコンティンジェンシープランを策定し、また定期的に訓練を実施する等の体制を整えております。

リスク管理・コンプライアンス体制



コンプライアンス(法令等遵守)の取り組み

当社は、法令等の社会的規範の遵守は社会から信頼をしていただく当然の前提であると考え、また、銀行としての公共的使命の高さと社会的責任の重さを十分に認識し、経営の最重要課題であるコンプライアンスの徹底のために下記のとおり取り組んでおります。

コンプライアンス体制

当社では、各部署にコンプライアンスオフィサーを配置し、担当部署におけるコンプライアンスの徹底やトラブル案件等の相談窓口としての役割を果たさせるとともに、リスク統括室担当役員による全社に互る統括管理の下、リスク統括室を全社の統括部署として、自己責任、自助努力、相互牽制による自己検証機能を有する組織の確立を図っております。監査部は、全社に互るコンプライアンス体制に対する、独立した内部監査機能を担っております。さらに、コンプライアンス全般についての重要事項については、経営会議の諮問機関である「コンプライアンス委員会」にて検討、評価を行う体制をとっております。

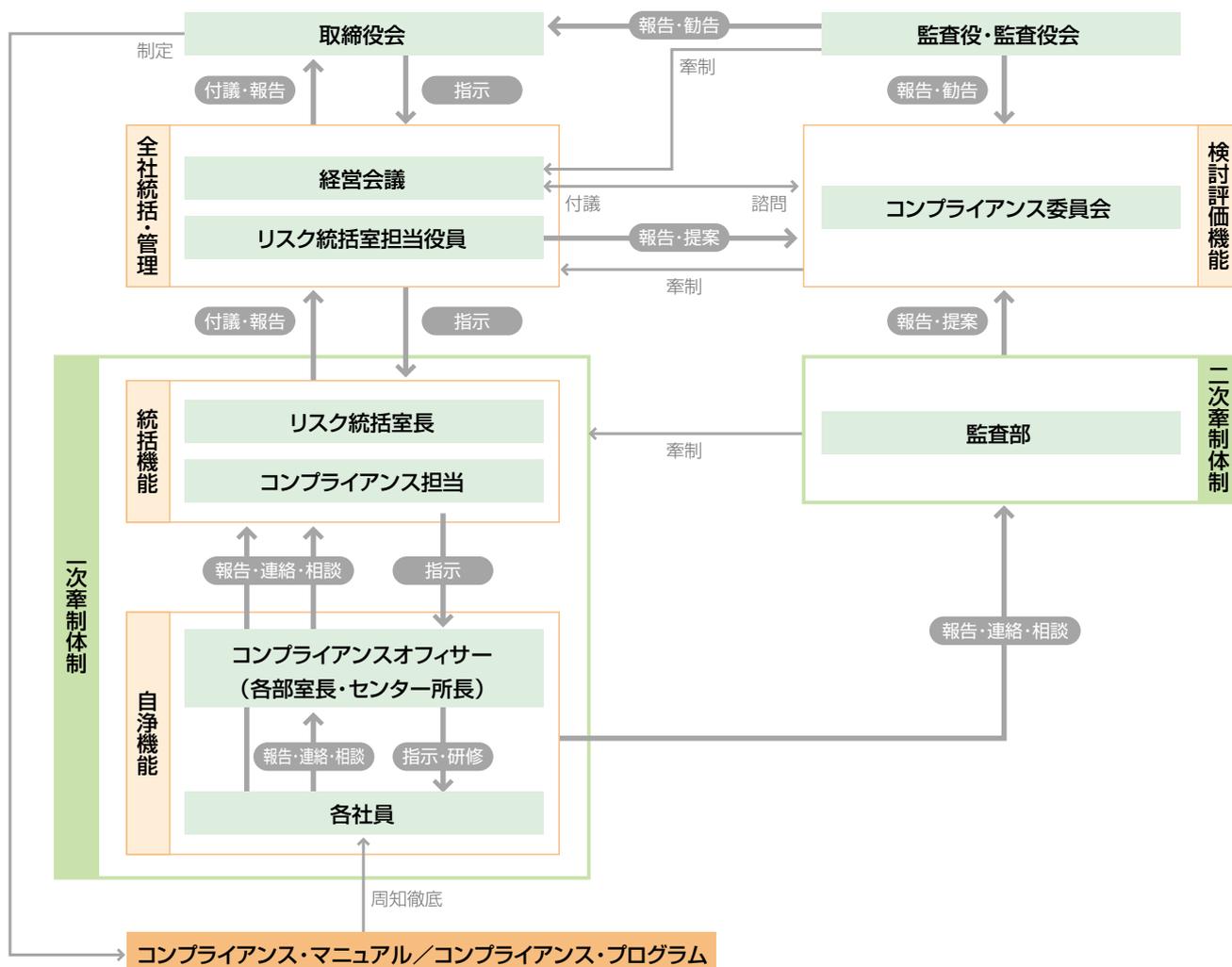
コンプライアンス・プログラム

当社では、事業年度ごとに、コンプライアンスに関する実践計画としての「コンプライアンス・プログラム」を制定しております。当社のコンプライアンスに関する具体的な活動は、この「コンプライアンス・プログラム」により実施されております。取締役会において、各期のプログラムの進捗状況、実施状況を検証・評価し、その結果を踏まえ、翌期のプログラムを策定しております。

コンプライアンス・マニュアル

当社では、コンプライアンス徹底のため、コンプライアンス・マニュアルを制定し、社員全員に配布しています。この内容は、法令の改廃等必要に応じて改訂しております。また、コンプライアンス・マニュアルの内容を徹底するため、コンプライアンス・プログラムに従い、部署ごとにコンプライアンス研修等を実施し、繰り返し周知徹底を図っております。

■コンプライアンス体制(詳細)



会社概要 (2006年3月末現在)

名称	株式会社セブン銀行 (英名: Seven Bank, Ltd.)
本社所在地	東京都千代田区丸の内1-6-1
代表取締役社長	安齋 隆
設立	2001年4月10日
開業	2001年5月7日
資本金	610億円
発行済株式数	122万株
従業員数	211人 (役員、派遣スタッフ、パート社員を除く)
格付け <small>(※格付は2006年7月5日現在)</small>	長期カウンターパーティ格付け「A+」 短期カウンターパーティ格付け「A-1」 アウトルック「ポジティブ」 銀行基礎信用力格付け「B」 (スタンダード&プアーズ社)



当社は全国銀行協会の正会員です。

営業所の名称および所在地 (2006年3月末現在)

本店 支店

所在地：東京都千代田区丸の内1-6-1
所在地：東京都千代田区丸の内1-6-1

支店には、それぞれの月に合った花の名前がつけられています。(当社は主としてATMを中心とした非対面取引を手掛ける銀行として、これら支店での窓口業務の取扱いには行っておりません。お客さまからのお問合せにつきましては、当社テレホンセンターにて承っております。)

法人向けには、ATM提携や売上入金サービス等、当社事業に必要な場合に口座を開設しております。法人向けサービスに係る支店は以下のとおりです。

口座開設月	支店名
1月	マーガレット支店
2月	フリージア支店
3月	パンジー支店
4月	チューリップ支店
5月	カーネーション支店
6月	アイリス支店
7月	バラ支店
8月	ハイビスカス支店
9月	サルビア支店
10月	コスモス支店
11月	カトリア支店
12月	ポインセチア支店

支店名
法人営業第一部
法人営業第二部
法人営業第三部
法人営業第四部
法人営業第五部

出張所 (有人店舗 「みんなの銀行窓口。」)

- 本店イトーヨーカドー蘇我店出張所
所在地：千葉県千葉市中央区川崎町7-20 イトーヨーカドー蘇我店1階「お金の便利コーナー」内
- 本店イトーヨーカドー八千代店出張所
所在地：千葉県八千代市村上4001-4 イトーヨーカドー八千代店1階「お金の便利コーナー」内
- 本店イトーヨーカドー川口店出張所
所在地：埼玉県川口市並木元町1-79 イトーヨーカドー川口店1階「お金の便利コーナー」内
- 本店イトーヨーカドー葛西店出張所
所在地：東京都江戸川区東葛西9-3-3 イトーヨーカドー葛西店1階「お金の便利コーナー」内
- 本店イトーヨーカドー亀有店出張所
所在地：東京都葛飾区亀有3-49-3 イトーヨーカドー亀有店1階「サービスカウンター」内

共同出張所

当社ホームページ(<http://www.sevenbank.co.jp/>)をご参照ください。

役員

(2006年6月16日現在)

取締役

代表取締役社長	安 斎 隆
取締役専務執行役員 リスク統括室長	若 杉 正 敏
取締役常務執行役員 システム部長	池 田 俊 明
取締役執行役員 企画部長兼業務推進部長	二子石 謙 輔
取 締 役	櫻 井 孝 穎*
取 締 役	佐 藤 信 武*
取 締 役	氏 家 忠 彦*
取 締 役	平 井 勇

監査役

常 勤 監 査 役	田 中 英 夫*
監 査 役	日 野 正 晴*
監 査 役	岸 本 幸 子*
監 査 役	佐 藤 政 行*

執行役員

執 行 役 員 総務部長兼人事部長	白 井 信 雄
執 行 役 員 業務開発部長	舟 竹 泰 昭

注記

※は社外取締役または社外監査役です。
代表取締役は執行役員を兼務します。

主要株主

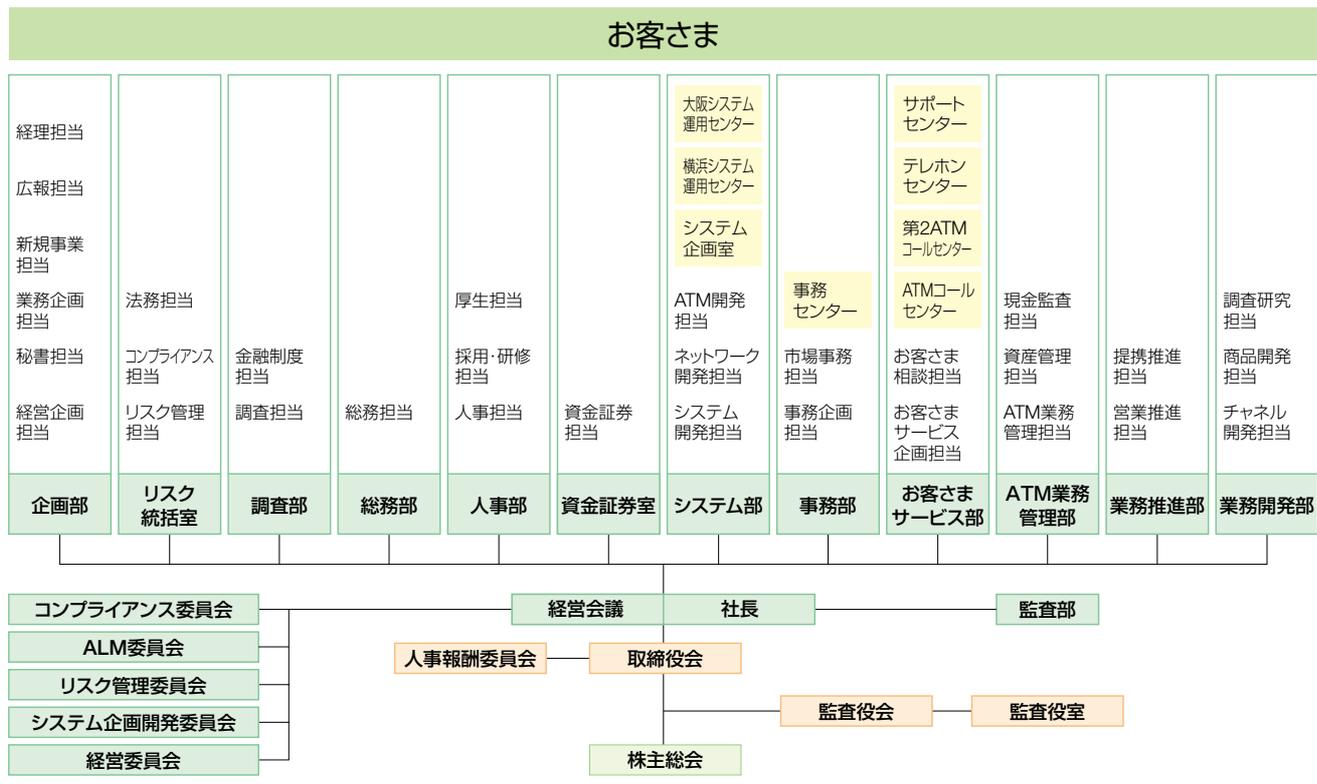
(2006年3月末現在)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社イトーヨーカ堂	306,361株	25.11%
株式会社セブン-イレブン・ジャパン	303,639株	24.89%
株式会社三菱東京UFJ銀行	60,000株	4.92%
株式会社ヨークベニマル	55,240株	4.53%
株式会社りそな銀行	30,000株	2.46%
株式会社三井住友銀行	30,000株	2.46%
第一生命保険相互会社	30,000株	2.46%
株式会社ライフフーズ	30,000株	2.46%
株式会社日立製作所	20,000株	1.64%
日本電気株式会社	20,000株	1.64%
株式会社野村総合研究所	20,000株	1.64%
日本生命保険相互会社	20,000株	1.64%
明治安田生命保険相互会社	20,000株	1.64%
三井住友海上火災保険株式会社	20,000株	1.64%
野村ホールディングス株式会社	20,000株	1.64%
株式会社日興コーディアルグループ	20,000株	1.64%

(小数点第3位以下を四捨五入)

組織図 (2006年6月末現在)

資料編



セブン&アイ HLDGS.の概要 (2006年6月末現在)

<p>不動産/警備</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) モール・エスシー開発 (株) IYリアルエステート (株) ヨーク警備 	<p>出版</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) セブン&アイ出版 	<p>金融サービス</p> <p>(株) セブン銀行</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) アイワイ・カード・サービス (株) SEキャピタル (株) ヨークインシュアランス (株) セブン&アイ・フィナンシャルセンター 	<p>コンビニエンスストア</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) セブン-イレブン・ジャパン 7-Eleven, Inc. SEVEN-ELEVEN (HAWAII), INC. セブン-イレブン北京 	<p>スーパーストア</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) イトーヨーカ堂 (株) 丸大 華糖ヨーカ堂 成都イトーヨーカ堂
<p>製造加工</p> <ul style="list-style-type: none"> アイワイフーズ (株) (株) テルベ (株) ライフフーズ 				<p>ミレニアムリテイリンググループ</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) ミレニアムリテイリング (株) そごう (株) 西武百貨店 (株) シェルガーデン (株) ロフト (株) ミレニアム キャスティング (株) 池袋ショッピングパーク (株) ハヶ岳高原ロッジ (株) 西武ごっつお便
<p>専門店</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) メリーアン (株) オッシュマンズ・ジャパン 	<p>IT/サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) セブンドリーム・ドットコム セブンアンドワイ (株) (株) セブン・ミールサービス (株) セブン&アイ生活デザイン研究所 (株) エス・ウィル 	<p>レストラン</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) デニーズジャパン (株) ファミール ヨーク物産 (株) 	<p>スーパーマーケット</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) ヨークベニマル (株) ヨークマート (株) サンエー (株) スーパーカドヤ 王府井ヨーカ堂 	<p>百貨店</p> <ul style="list-style-type: none"> (株) ロビンソン百貨店

5年の歩み (2006年6月末現在)

経営全般

2001年 4月 6日	予備免許取得	
		(予備免許取得)
4月10日	「アイワイバンク銀行」設立(資本金202億500万円)	
4月25日	銀行営業免許取得	
5月 7日	営業開始(新規口座開設の受付開始)	
5月15日	ATMサービス開始	
		(ATMサービス開始セレモニー)
5月23日	全国銀行協会に正会員として入会	
6月11日	全銀システムと接続	
6月13日	BANCS接続 (都市銀行カードによる当社ATMでの出金が可能に)	
6月18日	振込サービス開始	
8月30日	第1回第三者割当増資(資本金308億500万円に)	
12月17日	インターネット・モバイル・テレホンバンキングサービス開始	
2002年 3月27日	第2回第三者割当増資(資本金610億円に)	
2003年12月10日	第1回無担保社債(適格機関投資家限定)の発行 (150億円、期間5年)	
2004年 7月 7日	お客さまサービス部新設	
2005年 4月 1日	第2ATMコールセンター稼働開始	
4月 4日	確定拠出年金専用定期預金の取扱いを開始	
4月27日	イトーヨーカドー蘇我店に初の有人店舗をオープン	
7月26日	新世代ATM導入開始	
10月11日	「セブン銀行」へ社名変更	
2006年 1月 3日	新勘定系システム稼働開始	
3月 2日	イトーヨーカドー川口店出張所にて初の銀行代理業務を開始	
3月20日	定期預金開始	
4月 3日	全ATM一斉にICカード対応開始	

ATM設置開始地域

2001年	5月15日	東京都
	6月 1日	静岡県
	6月18日	埼玉県
	7月23日	大阪府
	7月27日	兵庫県
2002年	1月21日	神奈川県
	2月18日	千葉県
	5月20日	栃木県
	12月 4日	愛知県
	12月16日	京都府
2003年	2月18日	長野県
	2月24日	滋賀県
	3月24日	福岡県
	7月23日	茨城県
	9月22日	広島県
	10月20日	福島県
2004年	3月 1日	新潟県
	3月22日	熊本県
	4月19日	山形県
	5月17日	北海道
	7月 9日	山口県
	7月28日	群馬県
	10月26日	長崎県
	12月 6日	岡山県
2005年	4月 4日	宮崎県
	8月 1日	山梨県
	11月18日	岐阜県
	11月24日	佐賀県
2006年	2月16日	三重県
	3月 1日	宮城県

ATM設置台数

2001年	7月13日	1,000台突破
	11月11日	2,000台突破
2002年	3月 2日	3,000台突破
	6月22日	4,000台突破
2003年	3月24日	5,000台突破
	8月 7日	6,000台突破
	11月27日	7,000台突破
2004年	5月17日	8,000台突破
	7月28日	9,000台突破
2005年	4月 4日	10,000台突破
2006年	2月17日	11,000台突破

開示項目一覧

■ 銀行法施行規則第19条の2に基づく開示項目	ページ
概況及び組織に関する事項	
経営の組織	42
主要株主一覧	41
取締役及び監査役の氏名及び役職名	41
営業所の名称及び所在地	40
主要な業務の内容	4-5
主要な業務に関する事項	
営業の概況	28-29
主要経営指標	33
業務の状況を示す指標	
(主要な業務の状況を示す指標)	
業務粗利益及び業務粗利益率	34
資金運用収支、役員取引等収支、特定取引収支及びその他業務収支	34
資金運用勘定並びに資金調達勘定の平均残高、利息、利回り及び資金利ざや	34
受取利息及び支払利息の増減	34
総資産経常利益率及び資本経常利益率	34
総資産当期純利益率及び資本当期純利益率	34
(預金に関する指標)	
流動性預金、定期性預金、譲渡性預金その他の預金の平均残高	35
定期預金の残存期間別残高	35
(有価証券に関する指標)	
商品有価証券の種類別の平均残高	35
有価証券の種類別の残存期間別の残高	35
有価証券の種類別の平均残高	36
預証率の期末値及び期中平均値	36
業務の運営に関する事項	
リスク管理の体制	38
法令遵守の体制	39
直近の2営業年度における財産の状況に関する事項	
貸借対照表、損益計算書及び利益処分計算書、損失処理計算書	30-32
自己資本の充実の状況	36
有価証券の取得価額、時価及び評価損益	37
金銭の信託の取得価額、時価及び評価損益	37
デリバティブ取引の契約価額、時価及び評価損益	37
貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額	37
会計監査人の監査(商法の特例に関する法律)	44
■ 金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則第6条に基づく開示項目	
資産の査定公表事項	37

* 前期および当該期において、貸出金は発生しておりませんので、貸出金に係る以下の情報は記載しておりません。
 貸出金平均残高、貸出金残存期間別残高、貸出金担保別内訳、貸出金使途別内訳、貸出金業種別内訳、中小企業向け貸出、特定海外債権残高、預貸率、破綻先債権に該当する貸出金残高、延滞債権に該当する貸出金残高、3ヶ月以上延滞債権に該当する貸出金残高、貸出条件緩和債権に該当する貸出金の額、貸出金償却額

* 銀行法第21条第1項後段の規定により、公衆の縦覧に供する書類については、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律(昭和49年法律第22号)により、中央青山監査法人の監査を受けております。

決算公告(電子公告)

銀行法第20条に基づいて、下記の決算公告を当社定款に定めるホームページに掲載しています。
 [http://www.sevenbank.co.jp/about/public/index.html]にて当社の決算公告をご覧ください。



※ホームページのイメージは2006年7月現在

当社に関するお問合せ先

テレホンセンター

●セブン銀行口座をお持ちのお客さま
フリーコール 0088-21-1189
 または03-5617-2231 (有料)

●セブン銀行口座をお持ちでないお客さま
☎ 0120-77-1179

受付時間 8時～21時 年中無休

※カード紛失等の理由による口座の利用停止については、24時間受付けています。

ホームページアドレス

http://www.sevenbank.co.jp/

発行

2006年7月 株式会社セブン銀行 企画部 広報担当

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービルディング TEL 03-3211-3041

株式会社

セブン銀行

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目6番1号 丸の内センタービルディング
<http://www.sevenbank.co.jp/>

